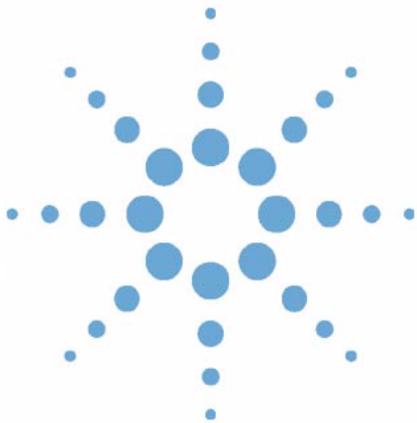


Agilent ChemStation

コンピュータの コンフィグレーションと メンテナンス



**Agilent ChemStation
リビジョン B.04.01**



Agilent Technologies

注意

© Agilent Technologies, Inc. 2004,
2005-2008

このマニュアルは米国著作権法および国際著作権法によって保護されており、Agilent Technologies, Inc. の書面による事前の許可なく、本書の一部または全部を複製することはいかなる形式や方法（電子媒体による保存や読み出し、外国語への翻訳なども含む）においても、禁止されています。

マニュアル番号

G2170-96132

エディション

07/08

Printed in Germany

Agilent Technologies
Hewlett-Packard-Strasse 8
76337 Waldbronn

Microsoft® は、Microsoft Corporation の
米国登録商標です。

ソフトウェアリビジョン

本ガイドは、Agilent 00000X
Product Name Variable ソフトウェアの
B.04.xx 版に対して有効です。この xx
はソフトウェアの軽微な修正に言及する
もので、本ガイドの技術的正確さに
影響を及ぼしません。

保証

本 マニュアルに含まれる内容は「現状のまま」提供されるもので、将来のエディションにおいて予告なく変更されることがあります。また、Agilent は、適用される法律によって最大限に許可される範囲において、本マニュアルおよびそれに含まれる情報の商品性および特定の目的に対する適合性に関する黙示の保障を含めて（ただしそれだけには限定されない）、いかなる明示または黙示の保障も行いません。Agilent は、本マニュアルまたはそれに含まれる情報の所有、使用、または実行に付随する過誤、または偶然的または間接的な損害に対する責任を一切負わないものとし、Agilent とお客様の間に書面による別の契約があり、本マニュアルの内容に対する保証条項が同文書の条項と矛盾する場合は、別の契約の保証条項が適用されます。

技術ライセンス

このマニュアルで説明されているハードウェアおよびソフトウェアはライセンスに基づいて提供され、そのライセンスの条項に従って使用またはコピーできます。

安全に関する注意

注意

注意は、危険を表します。これは、正しく実行しなかったり、指示を順守しないと、製品の損害または重要なデータの損失にいたるおそれがある操作手順や行為に対する注意を喚起します。指示された条件を十分に理解し、条件が満たされるまで、注意を無視して先に進んではなりません。

警告

警告は、危険を表します。これは、正しく実行しなかったり、指示を順守しないと、人身への傷害または死亡にいたるおそれがある操作手順や行為に対する注意を喚起します。指示された条件を十分に理解し、条件が満たされるまで、警告を無視して先に進んではなりません。

このガイドでは

アジレント提供の ChemStation PC バンドルシステムは、サポートされている Windows オペレーティングシステムがプリインストールされており、ChemStation のパフォーマンスが最適化されるように設定されています。Agilent 提供でない PC バンドルシステムでパフォーマンスを最適化するには、マニュアルでのコンフィグレーション変更をいくつか行う必要があります。

このマニュアルの最初の 2 つの章 [Agilent ChemStation リビジョン B.04.01 以降を使用するための Windows XP SP3 のコンフィグレーション手順](#) と [Agilent ChemStation リビジョン B.04.01 以降を使用するための Windows Vista SP1 のコンフィグレーション手順](#) では、アジレント提供でない PC バンドルシステムの設定に必要なすべてのパラメータの他、インターネットセキュリティの様な重要な設定についても説明します。このマニュアルで説明されている手順に従ってください。

3 番目と 4 番目の章、[セキュリティ設定とその他の変更操作 \(Administrator のユーザーアカウントで実行\)](#) では、機器特有のセキュリティ設定と追加コンフィグレーションタスクをそれぞれを説明します。

最後の章、[PC のファイルシステムのメンテナンス](#) では、最適な状態にパフォーマンスを維持するためのコンピュータのメンテナンス方法を説明します。

目次

1 Agilent ChemStation リビジョン B.04.01 以降を使用するための Windows XP SP3 の設定手順5

Windows XP のインストール 6

Windows XP の設定 7

2 Agilent ChemStation リビジョン B.04.01 以降を使用するための Windows Vista SP1 の設定手順27

Windows Vista のインストール 28

Windows Vista の設定 29

3 セキュリティ設定 51

LC/MSD と CE/MSD システムのセキュリティ設定 52

LC/MSD Trap システムのセキュリティ設定 56

GC 7890A システムのセキュリティ設定 60

I/O ライブラリスイート 15 のセキュリティ設定 62

Agilent Bootp サービスを使用するシステムのセキュリティ設定 65

4 その他の変更操作 67

ChemStation のインストール 68

ChemStation をパワーユーザー / ユーザーとして実行するためのプロファイルとグループポリシー 69

5 PC のファイルシステムのメンテナンス 71

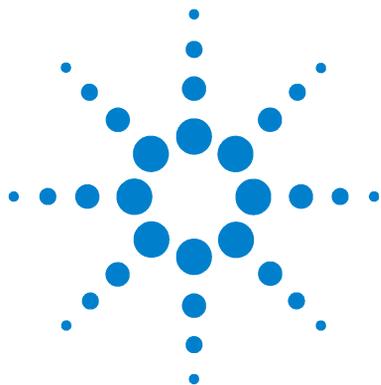
NTFS ボリュームのスキャンと修復 72

NTFS ボリュームのデフラグ 73

ウイルスのスキャン 75

残存している一時ファイルのクリーンアップ 76

バックアップ 78



1

Agilent ChemStation リビジョン B.04.01 以降を使用するための Windows XP SP 3 のコンフィグレーション 手順



Windows XP のインストール

備考

PC は、適切なセキュリティパッチとホットフィックスをインストールするまでインターネットに接続しないでください。ネットワークに接続するには、ウイルス定義ファイルと Agilent がサポートする最新のセキュリティフィックスをインストールすることを強くお勧めします。

- 1 リカバリ CD または Windows XP Professional の CD-ROM から、Windows XP をインストールします。Windows XP のセットアップ時に、コンピュータ名、Administrator パスワード、およびネットワーク設定を指定します。既存のドメインに参加するか、またはワークグループモードでシステムを設定してください。
- 2 [スタート] > [ファイル名を指定して実行] で winver と入力して、Windows のバージョンを確認します。
必要に応じて、XP のサービスパック 3 をインストールします。現在のファイルをアーカイブしてシステムを再起動するオプションは、無視してください。
- 3 システムをウイルスから保護するため、ウイルス対策プログラムをインストールしてください。ウイルス対策プログラムを実行すると、コンピュータの動作とパフォーマンスに影響を及ぼす可能性があります。Agilent ChemStation は、Symantecs の Norton Antivirus との実行によるテストを受けています。詳細については、75 ページの「[ウイルスのスキャン](#)」を参照してください。

Windows XP の設定

ChemStation を Windows XP システム上で正しく動作させるには、このマニュアルに記載の一部の変更手順に従うことが必要です。これにより、アプリケーションのパフォーマンスが最適化されます。また、グラフィックやその他小さな影響を与える変更手順もあります。

備考

個々の設定の重要度を示すため、各項目は以下のとおりに分類されます。

- **必須** : この変更操作は必ず行ってください。
- **パフォーマンス** : この変更操作は、システムのパフォーマンスを向上させます。
- **オプション** : この変更操作の大部分は、アプリケーションのグラフィック表示に影響します。

-
- [オプション]** 1 レイアウト全般: ([スタート]メニューを右クリック>[プロパティ])
- a [スタート]メニュータブのクラシック[スタート]メニューを選択します。
 - b [スタート]メニュー>[カスタマイズ]ボタンをクリックします(図 1 を参照)。
[スタート]メニューの詳細オプションで以下のオプションをオフにします。
 - **頻繁に利用するメニューを優先的に表示する**
 以下のオプションをオンにします。
 - **管理ツールを表示する**
 - **お気に入りを表示する**
 - **ログオフを表示する** (ワークグループシステムの場合で、このオプションは手順 6 以降でのみ使用できます)
 - **[ファイル名を指定して実行]を表示する**
 - **[スタート]メニューに項目をドラッグ/ドロップできるようにする**
 - **コントロールパネルを展開する**
 - **ネットワーク接続を展開する**
 - **プリンタを展開する**
 - **プログラムをスクロールする**
 - **[スタート]メニューに小さなアイコンを表示する**



図1 クラシック [スタート] メニューのカスタマイズ ダイアログ

- [必須] 2 フォルダオプション:([スタート]メニューを右クリック>[エクスプローラ])
- a [表示] を [詳細] に設定します。
 - b [ツール] > [フォルダオプション] を選択します。
 - c [全般] タブの [作業] で、[従来の Windows クラシックフォルダを使う] をクリックします。
 - d [表示] タブ、
以下のオプションをオフにします。
 - ・ 簡易ファイルの共有を使用する
 - ・ 登録されている拡張子は表示しない
 以下のオプションをオンにします。
 - ・ タイトルバーにファイルのパス名を表示する
 - e [すべてのフォルダに適用] ボタンを選択することで、すべてのフォルダに以上の設定を適用します。

- [必須] 3 Internet Explorer: ([スタート] > [すべてのプログラム] > [Internet Explorer]) (図 2 を参照)
- a [ツール] > [Windows Update] を選択して、重要なセキュリティパッチをすべて適用します。



図 2 重要なセキュリティ更新プログラムのダウンロード

Windows XP の設定

- [必須] 4 インターネットセキュリティの設定:([スタート]>[設定]>[コントロールパネル]>[セキュリティセンター])
- [セキュリティ設定の管理] の [自動更新] をクリックします。
 - [自動更新を無効にする] をクリックします (図 3 を参照)。[OK] をクリックします。



図 3 「自動更新」ダイアログ

- ヘルプのリストから、[セキュリティセンターからの警告の方法を変更する] をクリックします。
- [自動更新] をオフにします (11 ページの 図 4 を参照)



図 4 「警告の設定」 ダイアログ

- e [セキュリティ設定の管理] の [Windows ファイアウォール] をクリックします。
[全般] タブ、
「有効 (推奨)」 をクリックして、
「例外を許可しない」 をオンにします (図 5 を参照)。

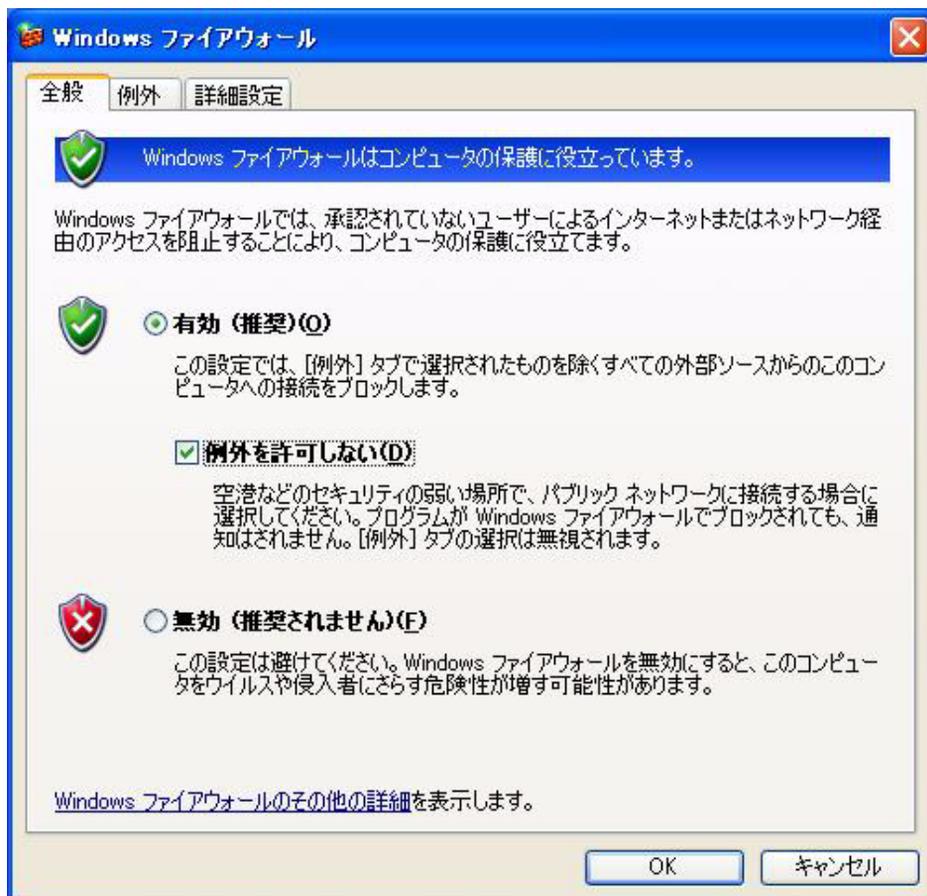


図 5 「Windows ファイアウォール」ダイアログの「全般」タブ

備考

Norton AntiVirus のバージョンが Norton Antivirus 2005 より古い場合には、Windows セキュリティセンターからの警告として、Norton AntiVirus はインストールされているがその実行状況を判別することができないことが通知されます。ウイルス対策のセキュリティ警告を無効にして Norton AntiVirus をユーザー自身で監視する方法については、Windows を参照してください。また、Windows セキュリティセンターに互換性を追加するための更新ファイルを取得する方法については、Symantec のサポートにお問い合わせください。

備考

LC/MSD、LC/MSD Trap、GC 7890 システムを制御する PC の場合、機器の MSD 部分との通信を確保するために、あまり厳しくないセキュリティ設定が必要です。また、Agilent Bootp サービスや Agilent I/O ライブラリスイートを使用する場合、あまり厳しくない設定を適用します。この設定は、51 ページの「**セキュリティ設定**」の章で説明します。

備考

「例外を許可しない」オプションをオンにしている場合には、Windows ファイアウォールによるプログラムのブロック時に通知が表示されないこと注意してください。「例外」タブでこのオプションをオンにしている場合でも通知は表示されません。ChemStation の起動には例外を必要としませんが、ユーザーの作業に必要な他のプログラムでは例外が必要となる可能性があります。例外が必要でその例外がユーザーの属する IT 部署のセキュリティ方針に従っているかどうかについては、その IT 部署にお問い合わせください。

- [必須] 5 Microsoft に Windows XP Professional を登録します。
- [必須] 6 Windows ログオンオプション：(ワークグループシステムのみ)
([スタート] > [設定] > [コントロールパネル] > [ユーザーアカウント])
 - a 「ユーザーのログオンやログオフの方法を変更する」をクリックします。
 - b 「ようこそ画面を使用する」をオフにします。
 - c 「ユーザーの簡易切り替えを使用する」をオフにします。
- [必須] 7 電源オプション：
([スタート] > [設定] > [コントロールパネル] > [電源オプション]) (14 ページの  を参照)
 - a [電源設定] タブをクリックします。
 - b [電源設定] ドロップダウンボックスから [常にオン] をクリックします。
 - c [電源設定を常にオンの設定] の下にあるすべての利用可能なドロップダウンボックスを [なし] に設定します。
 - d [休止状態] タブをクリックして、[休止状態を有効にする] をオフにします。

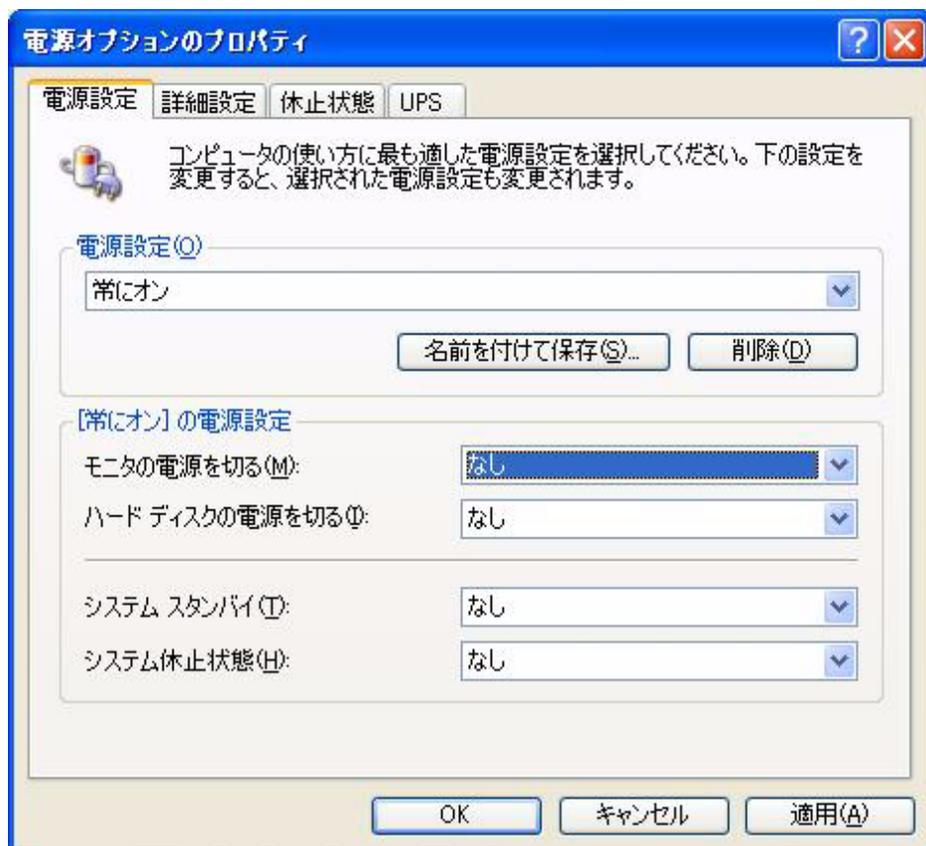


図 6 [電源オプションのプロパティ] ダイアログの [電源設定] タブ

- [必須] 8 ローカルセキュリティポリシー :
- ([スタート] > [すべてのプログラム] > [管理ツール] > [ローカルセキュリティポリシー])
- [セキュリティの設定] ツリーの [ローカルポリシー] フォルダを開き、[セキュリティオプション] フォルダを開きます。
 - 右側のパネルに表示されている次のポリシーをダブルクリックします。
ネットワークアクセス: ローカルアカウントの共有とセキュリティモデル。
 - 表示されたダイアログで、リストの一覧から次の項目をクリックします。
クラシック - ローカルユーザーがローカルユーザーとして認証する。

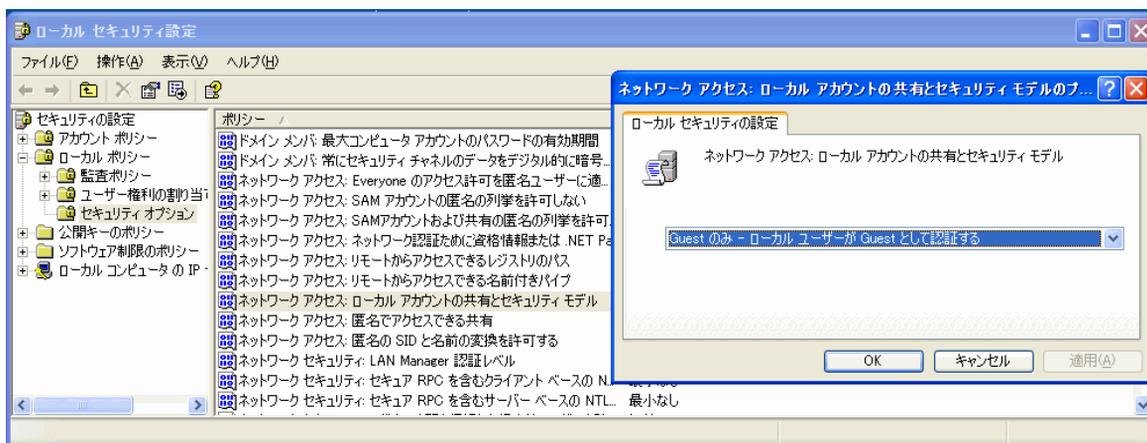


図7 [ローカルセキュリティ設定] ダイアログ

Windows XP の設定

- [必須] 9 Windows Messenger の自動起動の無効化：
([スタート] > [すべてのプログラム] > [Windows Messenger] > [ツール] > [オプション])：
- [設定] タブをクリックします (図 8 を参照)。
 - [全般] セクションで、「Windows の起動時に Windows Messenger を実行する」をオフにします。
 - [OK] をクリックして、システムを再起動します。

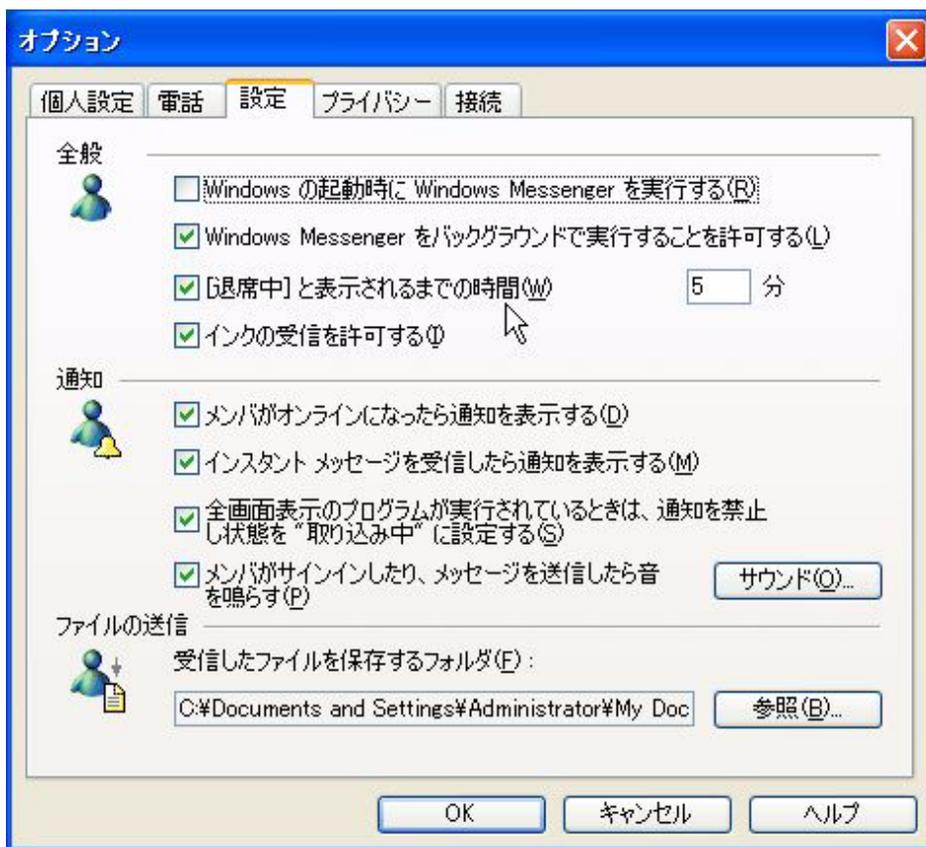


図 8 [オプション] ダイアログの [設定] タブ

- [必須] 10 地域と言語のオプション：
([スタート] > [設定] > [コントロールパネル] > [地域と言語のオプション])
(図 9 を参照)
- a [地域のオプション] タブで、ドロップダウンリストから [日本語] に設定してください。

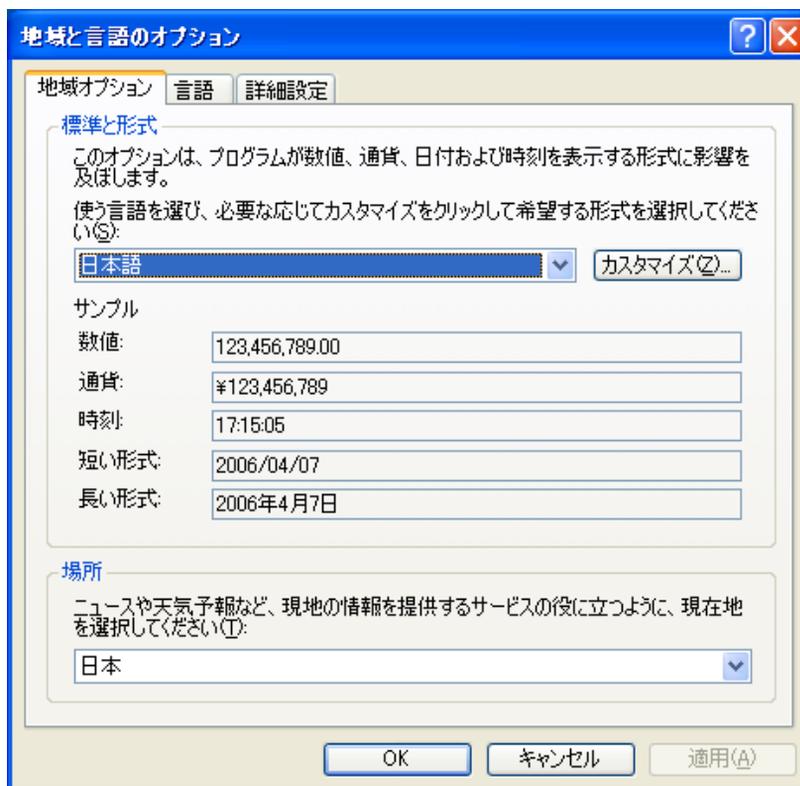


図 9 [地域と言語のオプション] ダイアログの [地域オプション] タブ

b [日本語] 以外の地域を選択する場合には必ず、以下の設定を行ってください。これらの設定を定義するには、[カスタマイズ] ボタンをクリックします (図 10 を参照)。

- [小数点の記号]: [.] (ピリオド)
- [桁区切り記号]: [,] (コンマ)
- [区切り記号]: [,] (コンマ)

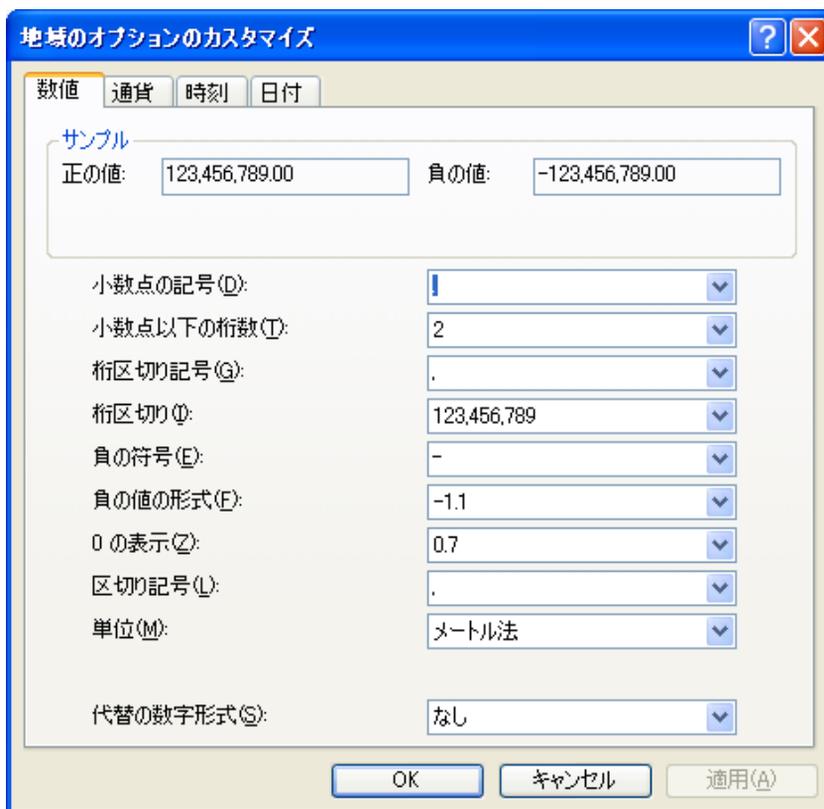


図 10 [地域オプションのカスタマイズ] ダイアログの [数値] タブ

- c ユニコード対応でないプログラムの言語 : [詳細設定] タブで、ドロップダウンリストから [日本語] を選択します (図 11 を参照)。

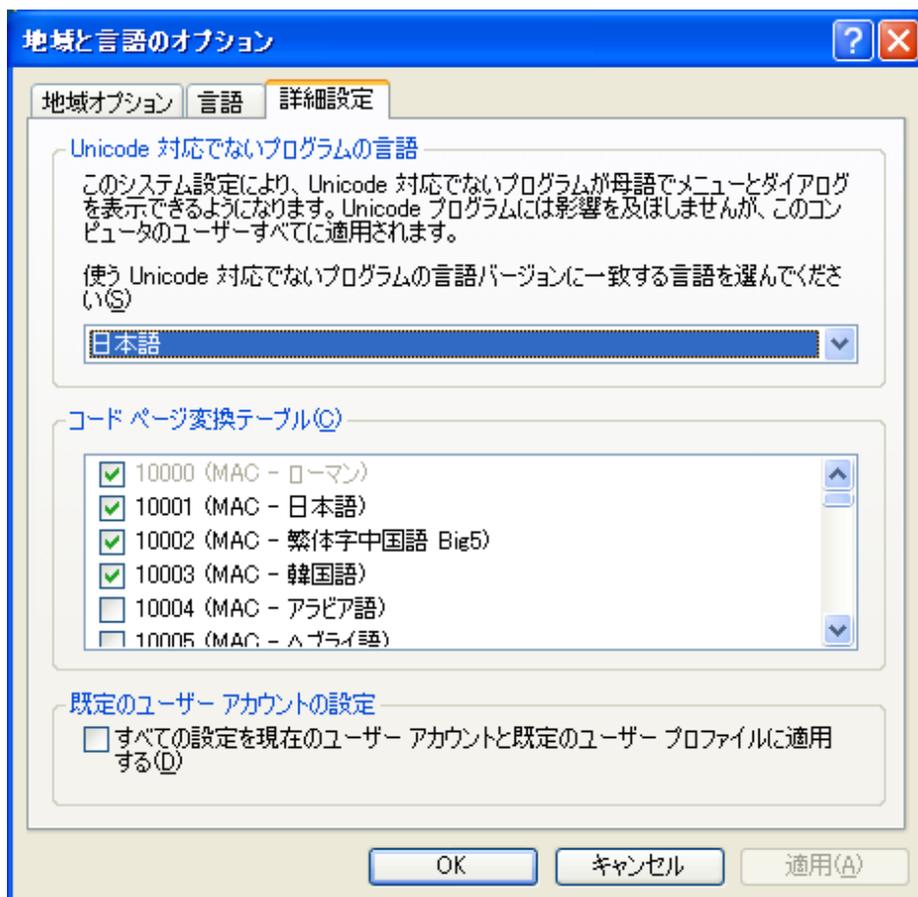


図 11 [地域と言語のオプション] ダイアログの [詳細設定] タブ

- [パフォーマ
ンス] 11 ハードディスクのプロパティ :
([スタート] を右クリック > [エクスプローラ] の [ローカルディスク (C:)]
を右クリック > [プロパティ])

Windows XP の設定

- a [全般] タブで、「このディスクにインデックスを付け、ファイル検索を速くする」をオフにします (図 12 を参照)。
- b 変更を適用するには、[OK] をクリックします。
- c 選択ダイアログで、「C:¥、およびサブフォルダとファイルに変更を適用する」オプションをオンにします。
- d この設定は、リムーバブルディスク以外のすべてのドライブでオフにしてください。

備考

Microsoft では、\$NTUninstallKB... フォルダなど Windows のホットフィックスやパッチに関連するフォルダには、特別なアクセス権限が適用されます。これらのフォルダのアクセス権限により、インデックスサービスの新しい設定を適用した際にはエラーメッセージが表示されます。こうしたメッセージが表示されたら「無視」をクリックしてください。



[パフォーマンス] **図 12** [ローカルディスク (C:) のプロパティ] ダイアログの [全般] タブ

12 画面レイアウト: (デスクトップを右クリック > [プロパティ])

- a [画面のプロパティ] ダイアログで、以下の項目を変更してください (22 ページの [図 13](#) を参照) :
 - [テーマ] タブで、[Windows XP] を [Windows クラシック] に変更します。

Windows XP の設定

- [**デスクトップ**] タブ > [**デスクトップのカスタマイズ**] ボタンをクリックします。
 - [**全般**] タブで、4 つのデスクトップアイコン ([**マイドキュメント**]、[**マイコンピュータ**]、[**マイネットワーク**]、[**Internet Explorer**]) をすべてオンにします。
 - [**全般**] タブの「**60 日ごとにデスクトップクリーンアップウィザードを実行する**」をオフにします。
 - [**スクリーンセーバー**] タブで、[**Windows XP**] を [**なし**] に変更します。
 - [**デザイン**] タブ > [**効果**] ボタンをクリックして、次の項目を除いたすべての項目をオフにします。
 - [**... キーボードナビゲーションの下線を表示しない**]
 - [**設定**] タブで、解像度を 1024 x 1280 に、色を 32 ビットに、リフレッシュレートを 75 Hz 以上に設定します。(注: 一部の旧型モニターは 60 Hz のみでの動作)。

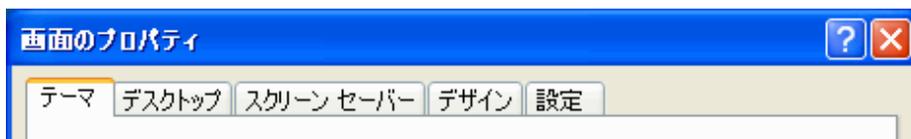


図 13 [画面のプロパティ] ダイアログのタブ

- [パフォーマンス]
- 13 システムのプロパティ:([**スタート**] > [**設定**] > [**コントロールパネル**] > [**システム**])
- a [**詳細設定**] タブ > [**パフォーマンス**] > [**設定**] ボタンをクリックします (図 14 を参照)。
- [**視覚効果**] タブで、[**視覚効果**] を [**パフォーマンスを優先する**] に設定します。
 - [**詳細設定**] タブ > [**仮想メモリ**] で、[**変更**] ボタンをクリックして、ページングファイルサイズを PC の物理 RAM の 2 ~ 3 倍の値に調整すると最適なパフォーマンスが得られます。
 - [**データ実行防止**] タブで、「**重要な Windows プログラムおよびサービスについてのみ有効にする**」をクリックします。

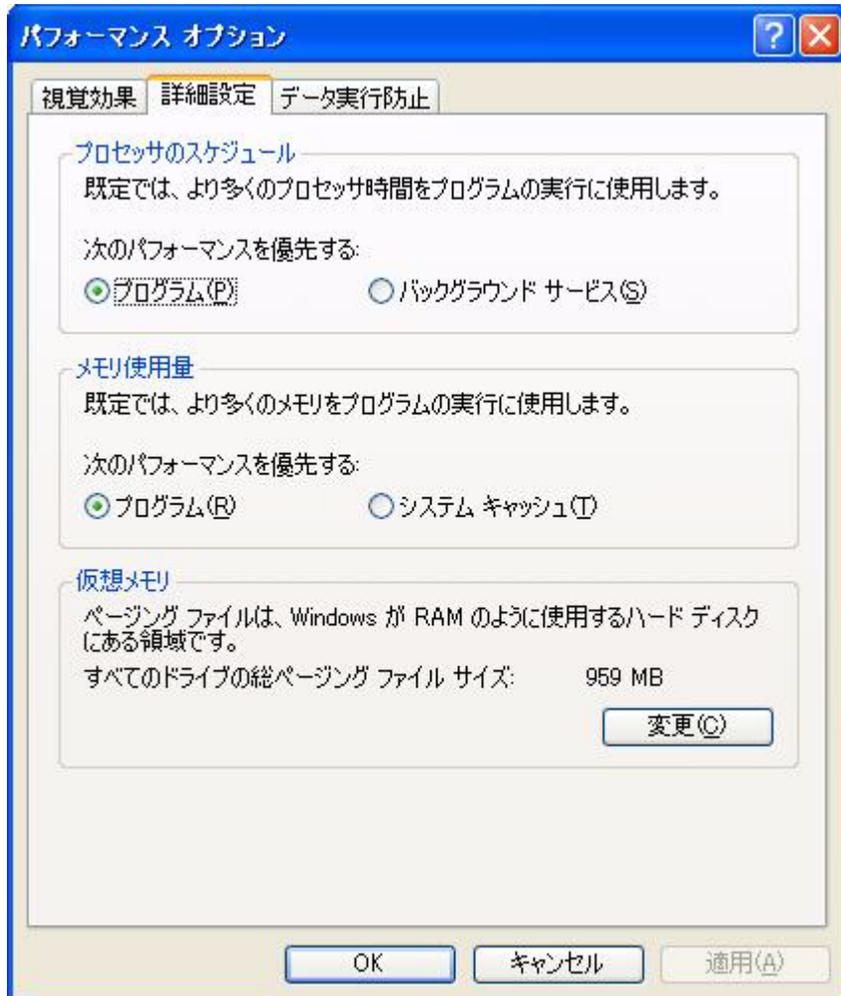


図 14 [パフォーマンスオプション] ダイアログの [詳細設定] タブ

- b [詳細設定] タブ > [起動と回復] > [設定] ボタンをクリックします(図 15 を参照)。
- [起動システム] セクションで、両方の「... を表示する時間」フィールドを「30」秒間から「3」秒間に変更します。
 - [システムエラー] セクションで、「デバッグ情報の書き込み」を「なし」に設定します。

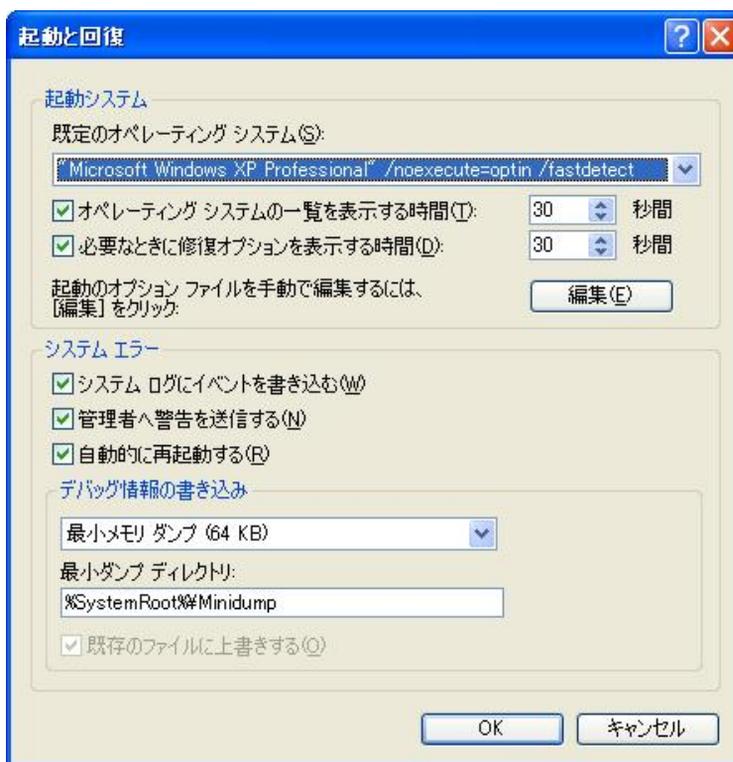


図 15 [起動と回復] ダイアログ

- c [詳細設定] タブ > [エラー報告] ボタンをクリックして、「エラー報告を無効にする」をクリックして「重大なエラーが発生した場合は通知する」をオンにします。
- d [リモート] タブで、「このコンピュータからリモートアシスタンスの招待を送信することを許可する」と「このコンピュータにユーザーがリモートで接続することを許可する」をオフにします。

- e [システムの復元] タブで、「すべてのドライブでシステムの復元を無効にする」をオンにします。この設定を有効にしたら、システムを再起動します。

- [オプション] 14 ごみ箱のプロパティ：(デスクトップの [ごみ箱] アイコンを右クリック) 以下のオプションをオンにします (図 16 を参照)。
- a 全ドライブで同じ設定を使う
 - b ごみ箱にファイルを移動しないで、削除と同時にファイルを消す
 - c 削除の確認メッセージを表示

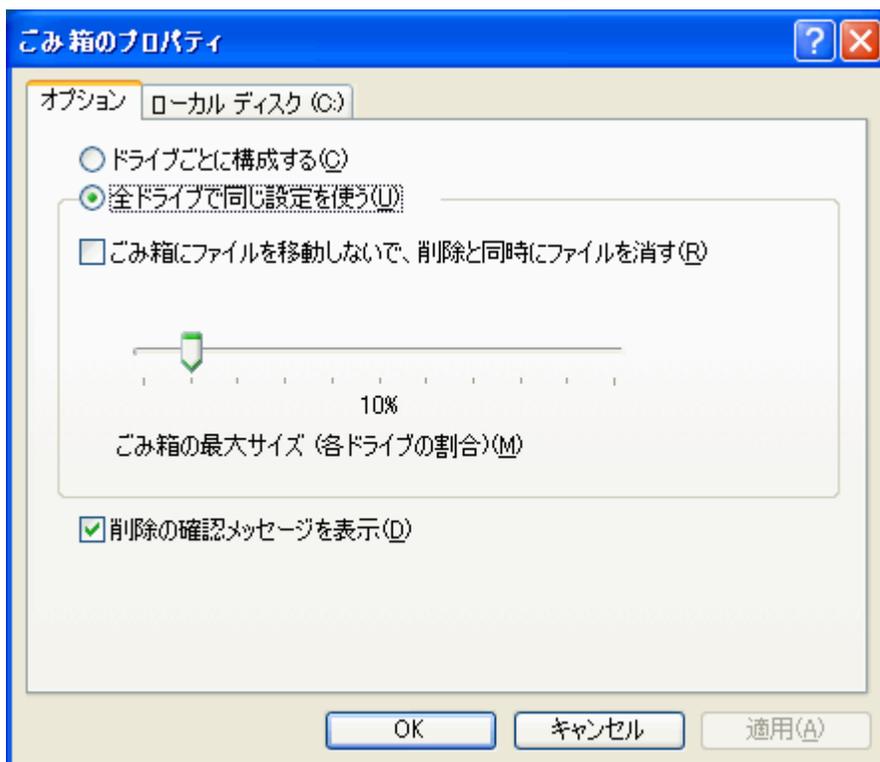
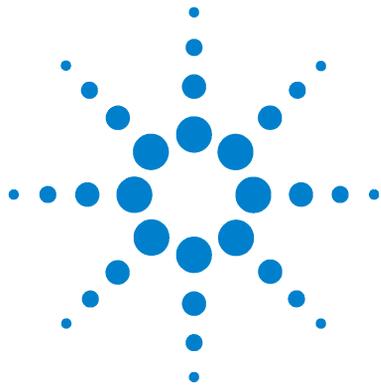


図 16 [ごみ箱のプロパティ] ダイアログの [オプション] タブ

- [オプション] 15 画面レイアウト：(デスクトップを右クリック > [アイコンの整列]) 「等間隔に整列」をオフにします。

Windows XP の設定



2

Agilent ChemStation リビジョン B.04.01 以降を使用するための Windows Vista SP1 のコンフィグレーション 手順



Windows Vista のインストール

備考

PC は、適切なセキュリティパッチとホットフィックスをインストールするまでインターネットに接続しないでください。ネットワークに接続するには、ウイルス定義ファイルと Agilent がサポートする最新のセキュリティフィックスをインストールすることを強くお勧めします。

- 1 リカバリ DVD または Windows Vista Business DVD から Windows Vista をインストールします。Windows Vista のセットアップ時に、コンピュータ名、Administrator パワード、およびネットワーク設定を指定します。既存のドメインに参加するか、またはワークグループモードでシステムを設定してください。
- 2 [スタート] > [検索] コマンドプロンプトで winver と入力して、Windows のバージョンを確認します。
必要に応じて、Vista のサービスパック 1 をインストールします。現在のファイルをアーカイブしてシステムを再起動するオプションは、無視してください。
- 3 システムをウイルスから保護するため、ウイルス対策プログラムをインストールしてください。ウイルス対策プログラムを実行すると、コンピュータの動作とパフォーマンスに影響を及ぼす可能性があります。Agilent ChemStation は、Symantecs の Norton Antivirus との実行によるテストを受けています。詳細については、75 ページの「[ウイルスのスキャン](#)」を参照してください。

Windows Vista の設定

ChemStation を Windows Vista システム上で正しく動作させるには、このマニュアルに記載の一部の変更手順に従う必要があります。これにより、アプリケーションのパフォーマンスが最適化されます。また、グラフィックやその他小さな影響を与える変更手順もあります。

備考

個々の設定の重要度を示すため、各項目は以下のとおりに分類されます。

必須: この変更操作は必ず行ってください。

パフォーマンス: この変更操作は、システムのパフォーマンスを向上させます。

オプション: この変更操作の大部分は、アプリケーションのグラフィック表示に影響します。

備考

ユーザーアカウント制御 (UAC) がオンになっている場合、一部のコンフィグレーション手順で続行するために能動的な確認が必要になります。

- [オプション] 1 レイアウト全般: ([スタート] を右クリック > [プロパティ])
- a [スタート]メニュー タブの
 - [スタート]メニューを選択します。
 - [プライバシー] セクションで両方の項目を選択します。
 - b [スタート]メニュー > [カスタマイズ] ボタンをクリックし、[スタートメニューのカスタマイズ] ダイアログで

以下のオプションをオフにします。

- [お気に入り]メニュー

以下のオプションをオンにします。

- コンピュータをリンクとして表示
- 接続先
- コントロールパネル: メニューとして表示
- デフォルトプログラム
- 文書: リンクとして表示
- コンテキストメニューとドラッグ & ドロップ を有効にする

- ゲーム：この項目を表示しない
- ヘルプ
- 新しくインストールされたプログラムを強調表示
- ミュージック：この項目を表示しない
- ネットワーク
- マウスポインターで一時的に停止するとサブメニューを開く

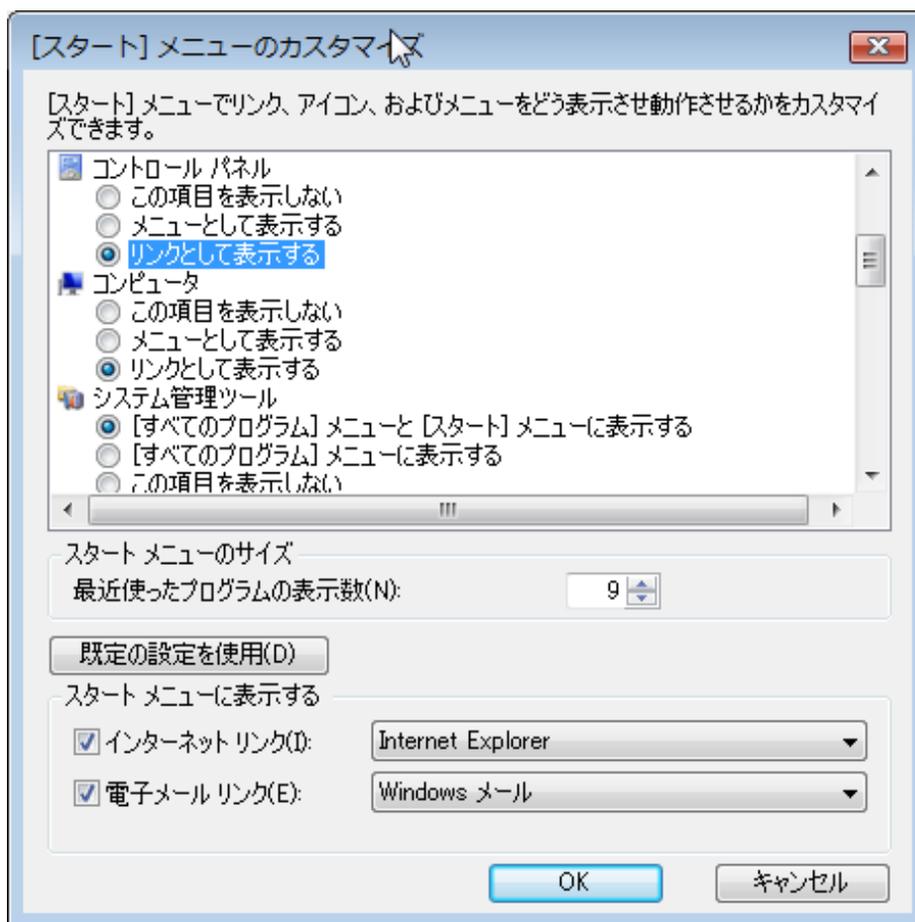


図 17 「[スタート]メニューのカスタマイズ」ダイアログ

- パーソナルフォルダ：リンクとして表示
- ピクチャ：リンクとして表示
- プリンタ
- ファイル名を指定して実行
- 通信を検索
- お気に入りと履歴を検索
- ファイルの検索：このユーザーのファイルを検索
- プログラムを検索
- [すべてのプログラム]メニューを名前でソート
- システム管理ツールで、「[すべてのプログラム]メニューと[スタート]メニューを表示」
- 大きなアイコンを表示

[必須] 2 フォルダオプション:([スタート]メニューを右クリック>[エクスプローラ])

- a [表示]を[詳細]に設定します。
- b [整理]>[レイアウト]を選択します。
 - [メニューバー]を有効にします。
- c [ツール]>[フォルダオプション]を選択します。
 - [全般]タブの[作業]で、[従来の Windows クラシックフォルダを使う]をクリックします。
 - [表示]タブで「登録されている拡張子は表示しない」オプションをオフにします。「タイトルバーにフルパスを表示 (クラシックフォルダのみ)」オプションをオンにします。
- d [すべてのフォルダに適用]ボタンを選択することで、すべてのフォルダに以上の設定を適用します。

- [必須] 3 Internet Explorer: ([スタート] > [すべてのプログラム] > [Internet Explorer])
- a [ツール] > [Windows Update] を選択し (図 18 を参照)、Windows Update を実行して更新がないか確認し、すべての重要なセキュリティパッチを適用します。

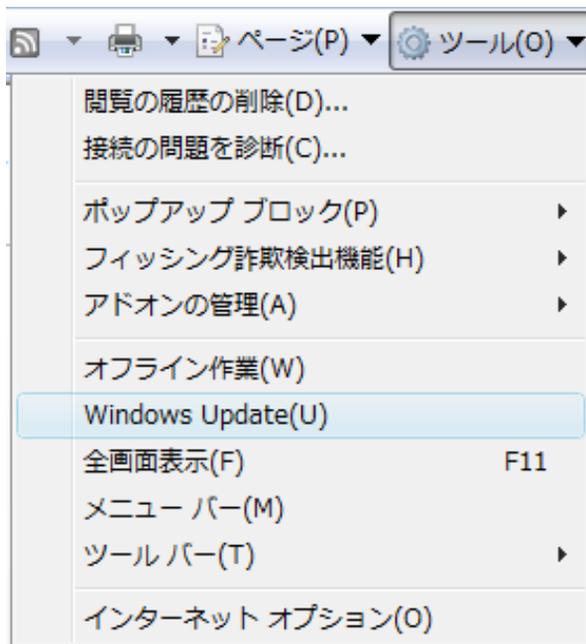


図 18 重要なセキュリティ更新プログラムのダウンロード

- [必須] 4 インターネットセキュリティの設定 ([スタート] > [コントロールパネル] > [セキュリティセンター])
- a 左側の画面で、[Windows Update] > [設定の変更] をクリックします。
- 「更新を確認しない (お勧めしません)」を選択します。



図 19 Windows で更新をインストールする方法を選択

- b 左側の画面で、[**セキュリティセンターからの警告の方法を変更する**] をクリックします。
- [**通知しないが、アイコンを表示する**] をクリックします (図 20 を参照)。

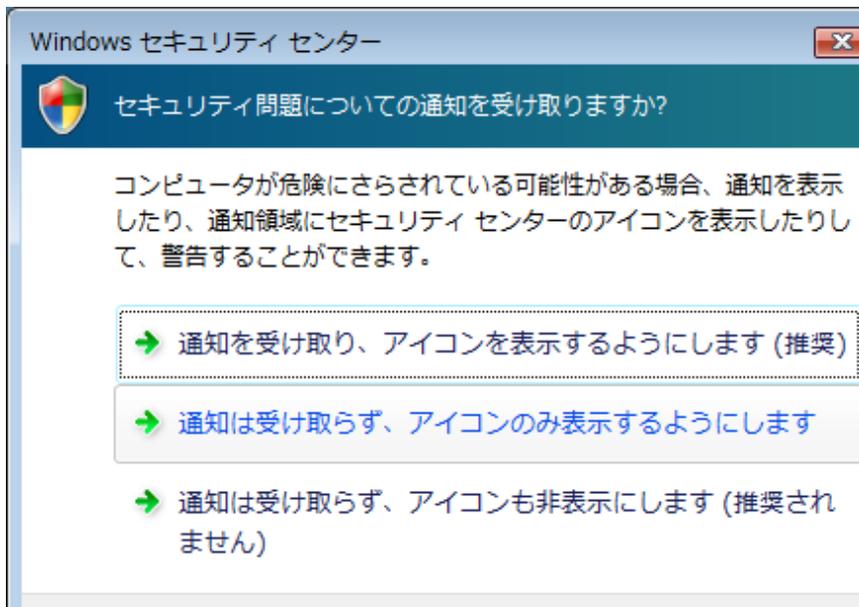
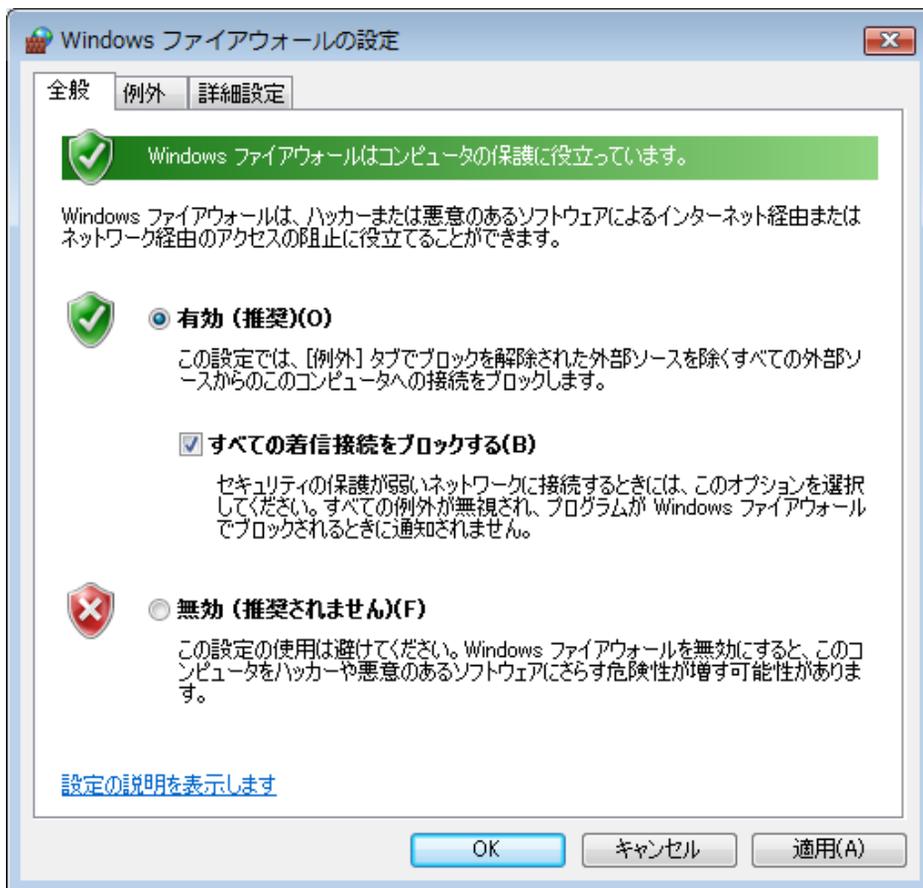


図 20 Windows セキュリティセンターによる通知の変更

- c 左側の画面で、[Windows ファイアウォール] をクリックします。
- 右側の画面で、[設定の変更] をクリックします。
 - [全般] タブで (図 21 を参照)、
[オン (推奨)] と
[すべての着信通信をブロック] をオンにします。



備考

Norton AntiVirus のバージョンが Norton Antivirus 2005 より古い場合には、Windows セキュリティセンターからの警告として、Norton AntiVirus はインストールされているがその実行状況を判別することができないことが通知されます。ウイルス対策のセキュリティ警告を無効にして Norton AntiVirus をユーザー自身で監視する方法については、Windows を参照してください。また、Windows セキュリティセンターに互換性を追加するための更新ファイルを取得する方法については、Symantec のサポートにお問い合わせください。

備考

「例外を許可しない」オプションをオンにしている場合には、Windows ファイアウォールによるプログラムのブロック時に通知が表示されないことを注意してください。「例外」タブでこのオプションをオンにしている場合でも通知は表示されません。ChemStation の起動には例外を必要としませんが、ユーザーの作業に必要な他のプログラムでは例外が必要となる可能性があります。例外が必要でその例外がユーザーの属する IT 部署のセキュリティ方針に従っているかどうかについては、その IT 部署にお問い合わせください。

備考

LC/MSD、LC/MSD Trap、GC 7890 システムを制御する PC の場合、機器の MSD 部分との通信を確保するために、あまり厳しくないセキュリティ設定が必要です。また、Agilent Bootp サービスや Agilent I/O ライブラリスイート 15 を使用する場合、あまり厳しくない設定を適用します。この設定は、51 ページの「[セキュリティ設定](#)」の章で説明します。

[必須] 5 Microsoft に Windows Vista を登録します。

- [必須] 6 Windows ログオンオプション : ([スタート] > [検索] で、gpedit.msc を検索)
- a [ローカルコンピュータポリシー] > [コンピュータコンフィギュレーション] > [管理テンプレート] > [システムログオン] と移動します (37 ページの  22 を参照)
- [簡易切り替えのエントリポイントを非表示] と [クラシックログオンを常に使用] をオンにします。

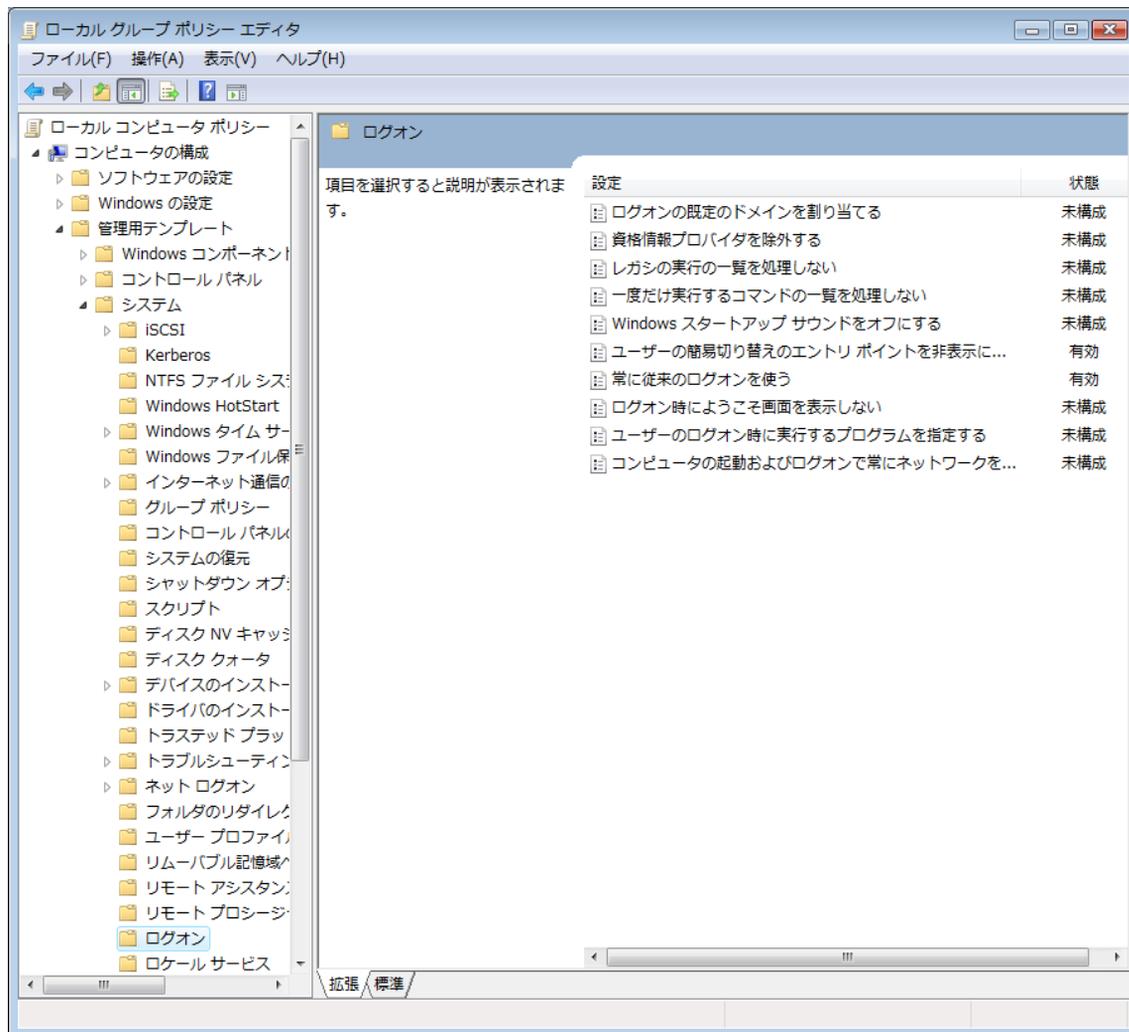


図 22 [ローカルグループポリシーエディタ] ダイアログ

- [必須] 7 電源オプション：
 ([スタート] > [コントロールパネル] > [電源オプション]) (38 ページの
 図 23 を参照)
- 電源プラン [ハイパフォーマンス] をオンにします。
 - [プラン設定の変更] をクリックします (39 ページの 図 24 を参照)。
 - [ディスプレイを切る] と [コンピュータを休止状態にする] の両方のオプションを [なし] に設定します。
 - 変更を保存します。



図 23 電源プランの選択

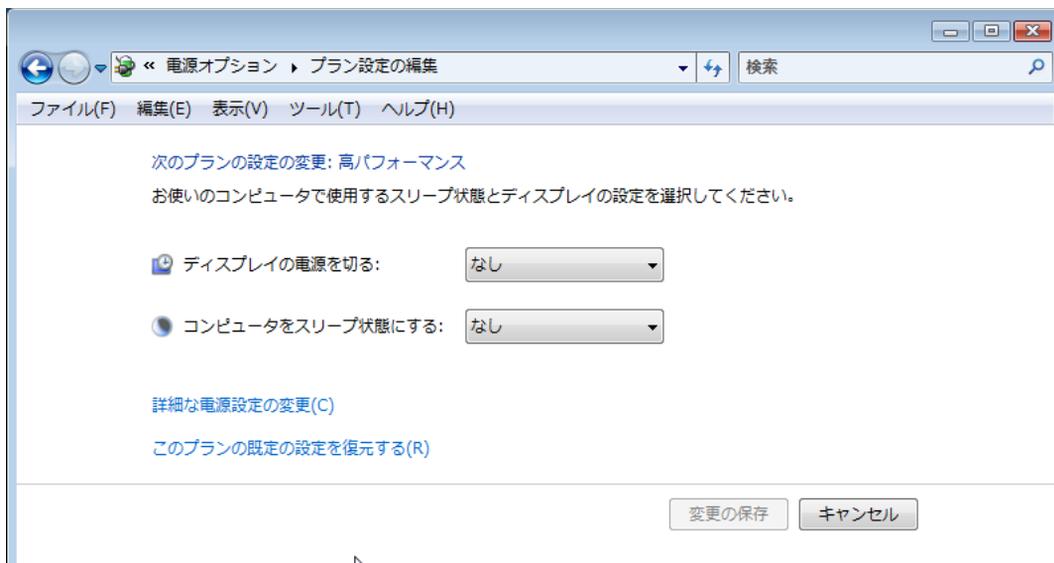


図 24 プランの設定を [ハイパフォーマンス] に変更

Windows Vista の設定

- [必須] 8 ローカルセキュリティポリシー :
- ([スタート] > [すべてのプログラム] > [管理ツール] > [ローカルセキュリティポリシー])
- [セキュリティ設定] > [ローカルポリシー] > [セキュリティオプション] と移動します。
 - 右側のパネルに表示されている次のポリシーをダブルクリックします。
ネットワークアクセス: ローカルアカウントの共有とセキュリティモデル。
 - 表示されたダイアログで、リストの一覧から次の項目をクリックします。
クラシック - ローカルユーザーがローカルユーザーとして認証する。

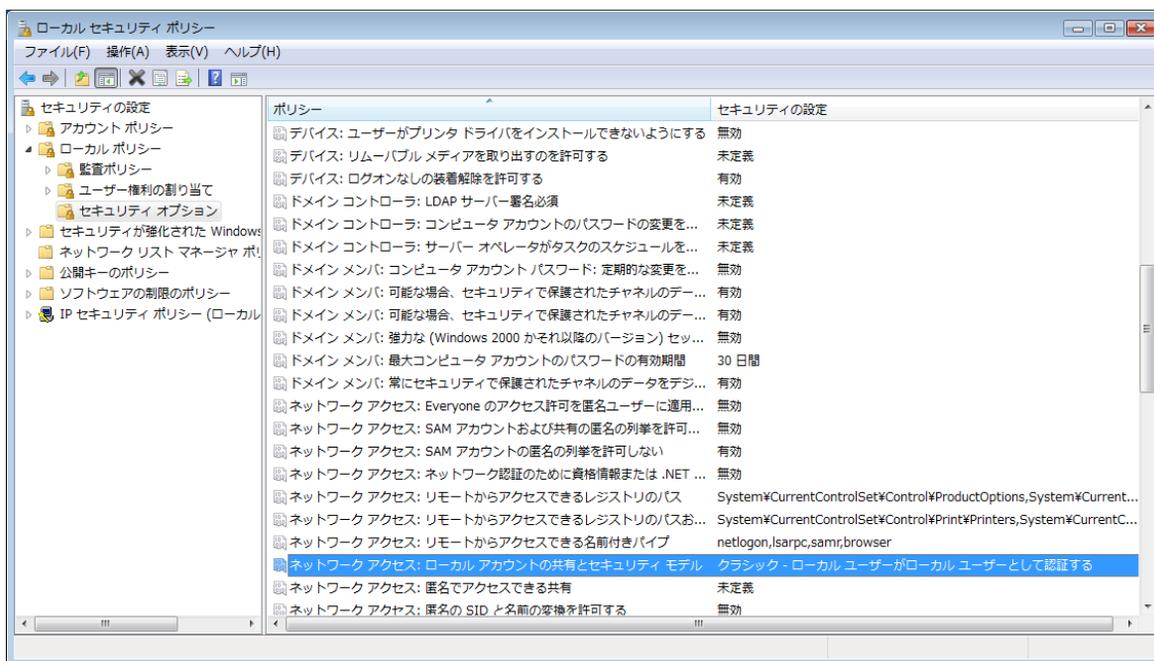


図 25 [ローカルセキュリティポリシー] ダイアログ

- [必須] 9 地域と言語のオプション：
([スタート] > [コントロールパネル] > [地域と言語のオプション])
(図 26 を参照)
- a [地域のオプション] タブで、ドロップダウンリストから [日本語] に設定してください。



図 26 [地域と言語のオプション] ダイアログ

b [日本語] 以外の地域を選択する場合には必ず、以下の設定を行ってください。これらの設定を定義するには、[カスタマイズ] ボタンをクリックします (図 27 を参照)。

- [小数点の記号]: [.] (ピリオド)
- [桁区切り記号]: [,] (コンマ)
- [区切り記号]: [,] (コンマ)

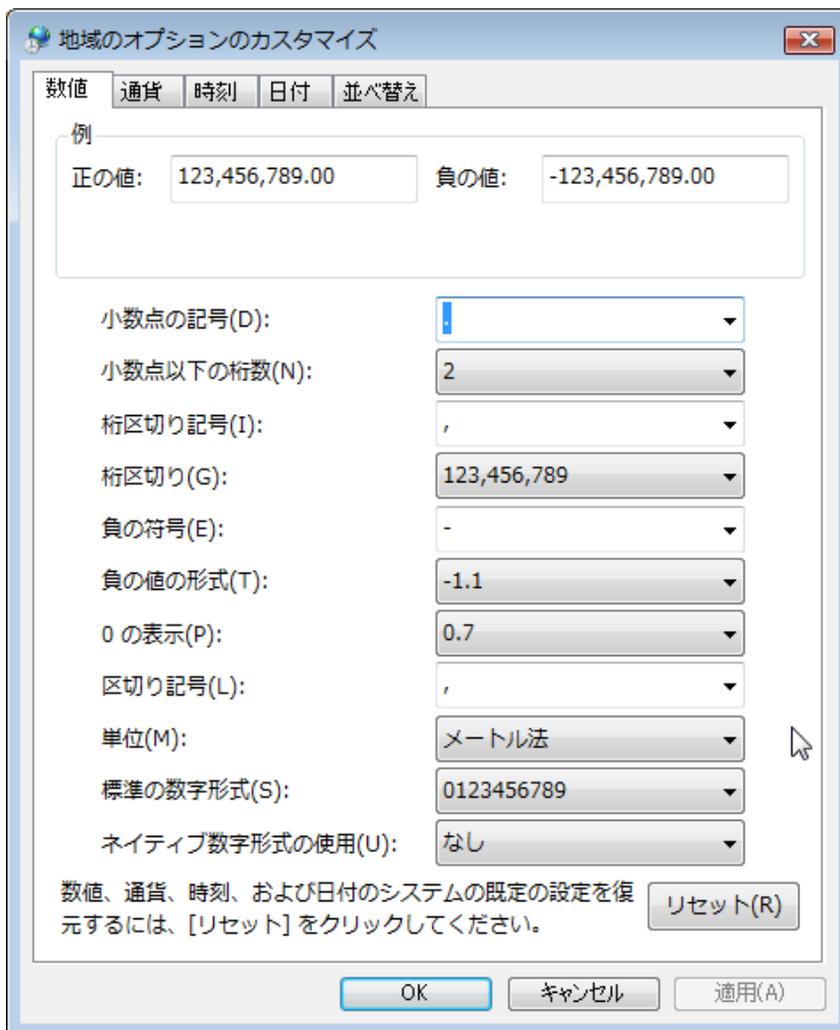


図 27 [地域オプションのカスタマイズ] ダイアログ

- c ユニコード対応でないプログラムの言語: [管理] タブで、[システムロケールの変更] をクリックします。ドロップダウンリストから、[日本語] を選択します (図 28 を参照)。

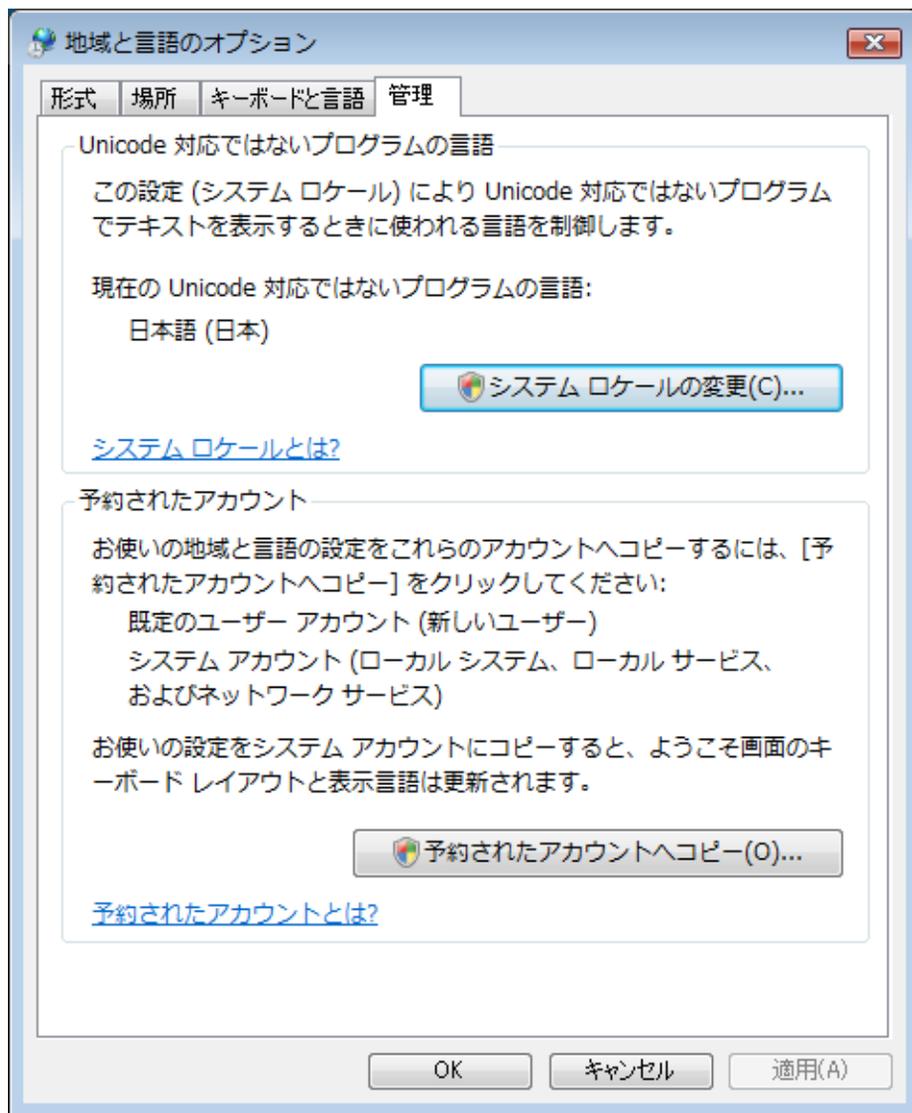


図 28 [地域と言語のオプション] ダイアログの [管理] タブ

- [必須] 10 ネットワークデバイスの電源管理
 ([スタート] > [ネットワーク] を右クリック > [プロパティ] > [ネットワーク接続の管理] [LAN 接続] を右クリック > [プロパティ] > [設定])
 a [電源管理] タブで、すべての項目をオフにします (図 29 を参照) 。

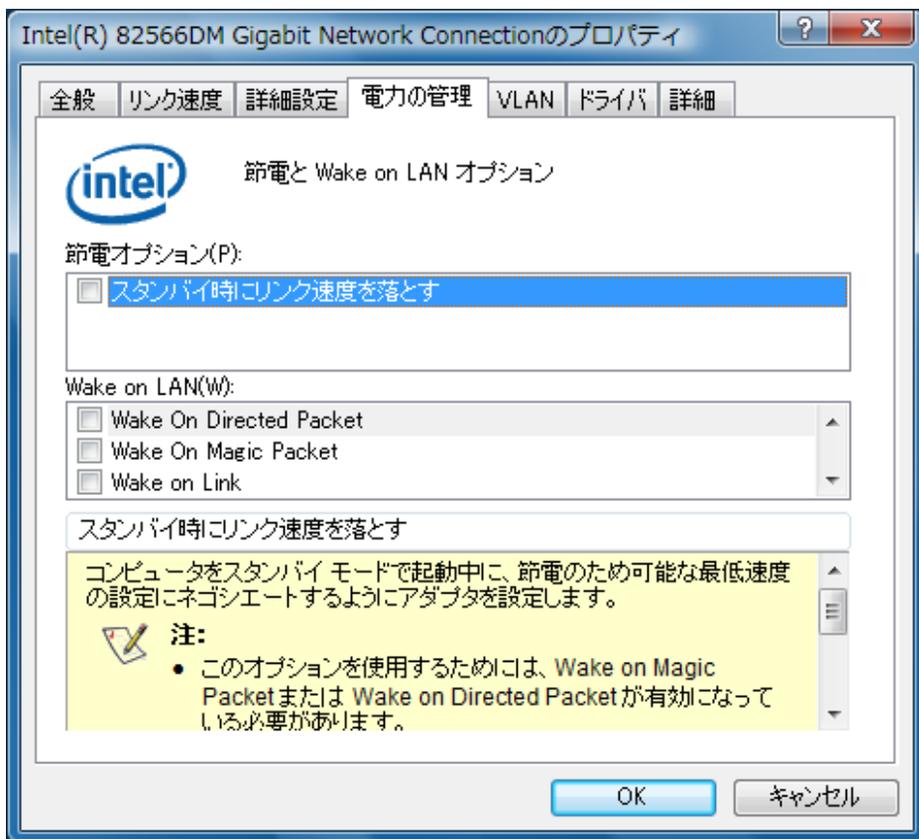


図 29 [ネットワーク接続プロパティ] ダイアログの [電源管理] タブ

- [パフォーマンス]
[パフォーマンス]
- 11 画面レイアウト: ([デスクトップ]を右クリック>[カスタマイズ]):
- a [ウィンドウの色とデザイン]をクリックします。
 - b [詳細カラーオプションのクラシックデザインプロパティを開く]をクリックします。
 - c [効果]を押します。3つの項目すべてをオフにします。

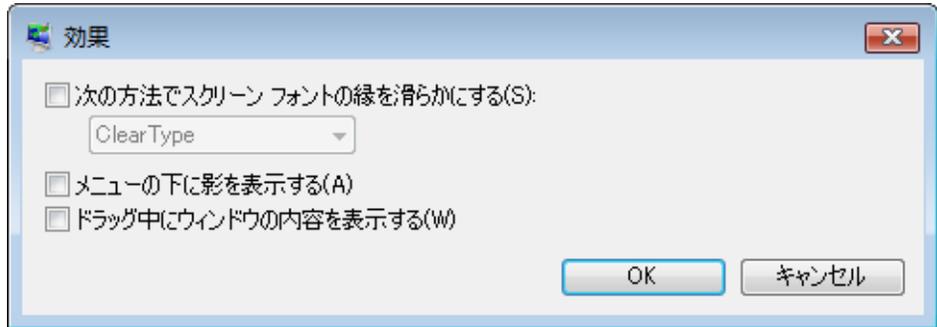


図 30 [効果] ダイアログ

- [パフォーマンス]
[パフォーマンス]
- 12 システムのプロパティ:[スタート]>[コントロールパネル]>[システム]で、
[システム詳細設定]をクリックします。

Windows Vista の設定

- a [詳細設定] タブ > [パフォーマンス] > [設定] ボタンをクリックします。
 - [詳細設定] タブ > [仮想メモリ] で、[変更] ボタンをクリックして、ページングファイルサイズを PC の物理 RAM の 2 ~ 3 倍の値に調整すると最適なパフォーマンスが得られます。
 - [データ実行防止] タブで、「重要な Windows プログラムおよびサービスについてのみ有効にする」をクリックします。
- b [詳細設定] タブ > [起動と回復] > [設定] ボタンをクリックします (図 31 を参照)。
 - [起動システム] セクションで、両方の「... を表示する時間」フィールドを「30」秒間から「3」秒間に変更します。
 - [システムエラー] セクションで、「デバッグ情報の書き込み」を「なし」に設定します。

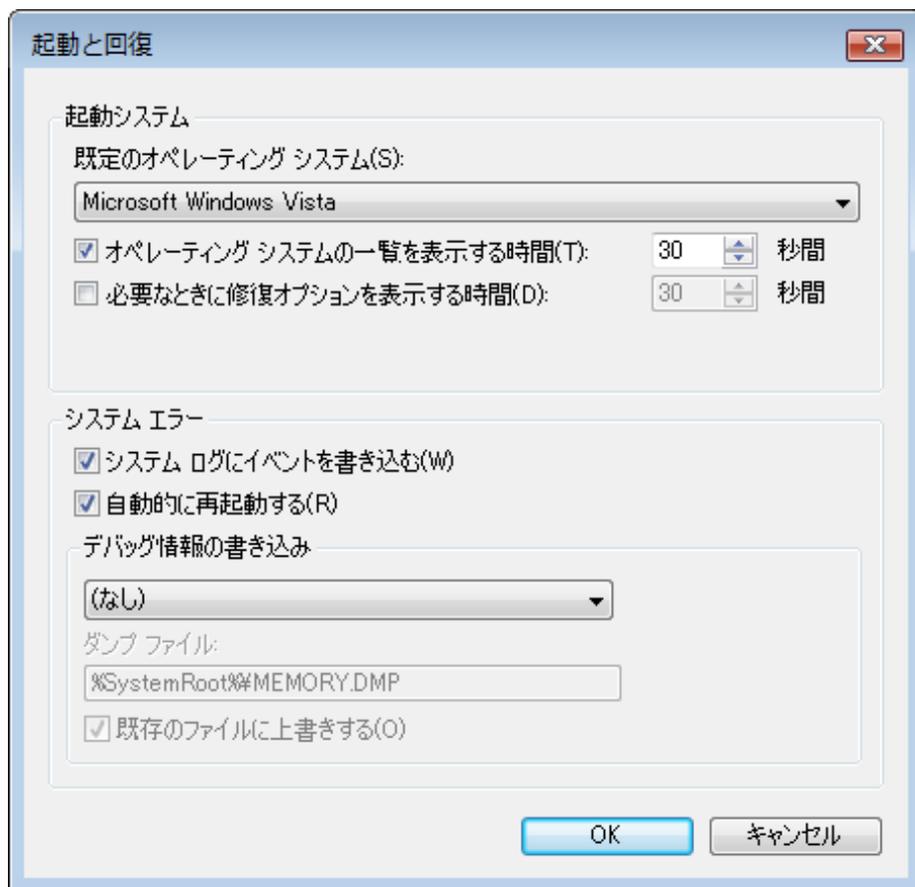


図 31 [起動と回復] ダイアログ

c [リモート] タブ

- [リモートアシスタンス] セクションで、[このコンピュータへのリモートアシスタンス接続を許可する] をオフにします。
- [リモートデスクトップ] セクションで、[このコンピュータへの接続を許可しない] をオンにします。

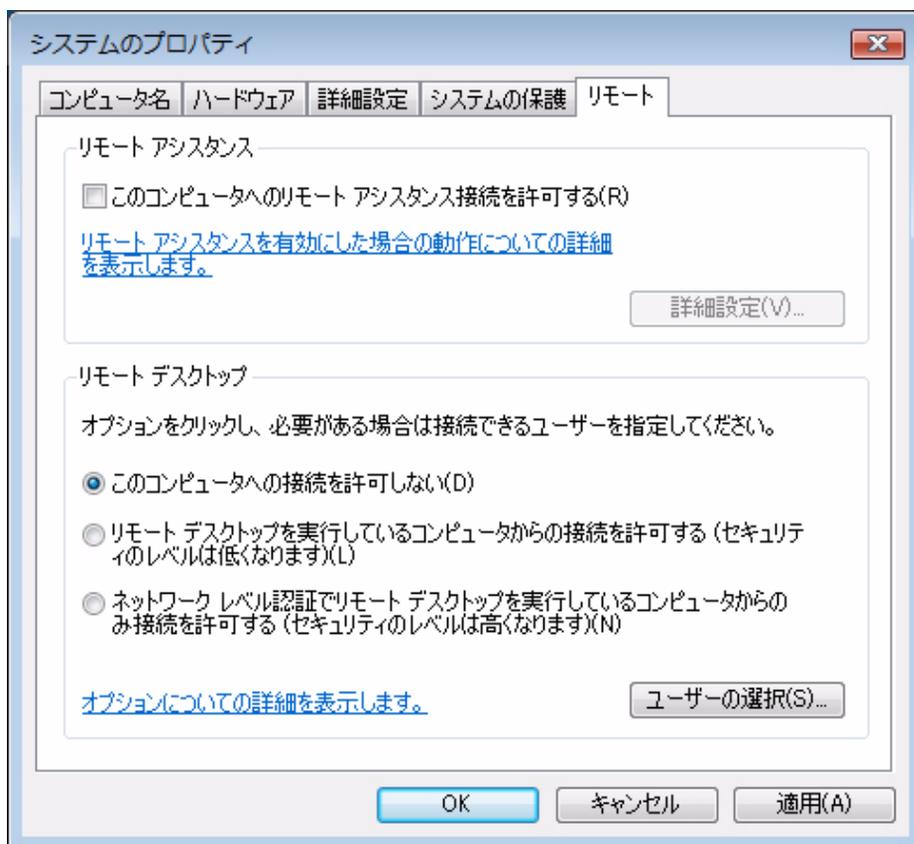


図 32 [システムプロパティ] ダイアログ

[オプション] 13 ウェルカムセンター ([スタート]>[検索])で、「gpedit.msc」を検索します)

- [ローカルコンピュータポリシー]>[コンピュータコンフィギュレーション]>[管理テンプレート]>[システム]>[ログオン]と移動します (図 33 を参照)。
- [ログオン時によるこそ画面を表示しない]をオンにします。

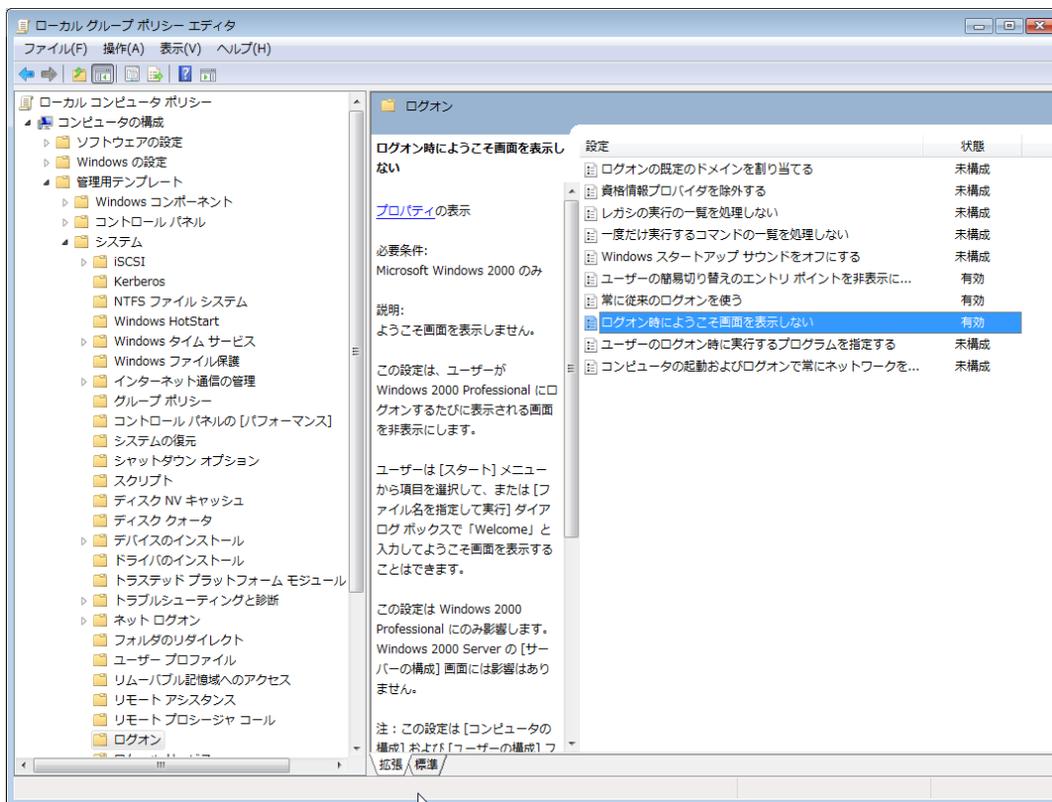


図 33 [ローカルグループポリシーエディタ] ダイアログ

- [オプション] a ごみ箱のプロパティ (デスクトップの [ごみ箱] アイコンを右クリック) 以下のオプションをオンにします (図 34 を参照)。
- [カスタムサイズ]: ドライブの全ディスク空き容量の約 10% に相当するサイズを選択します。
 - [削除の確認メッセージを表示] ダイアログを確認します。
- b ご使用のコンピュータのすべてのドライブに上記手順を繰り返します。

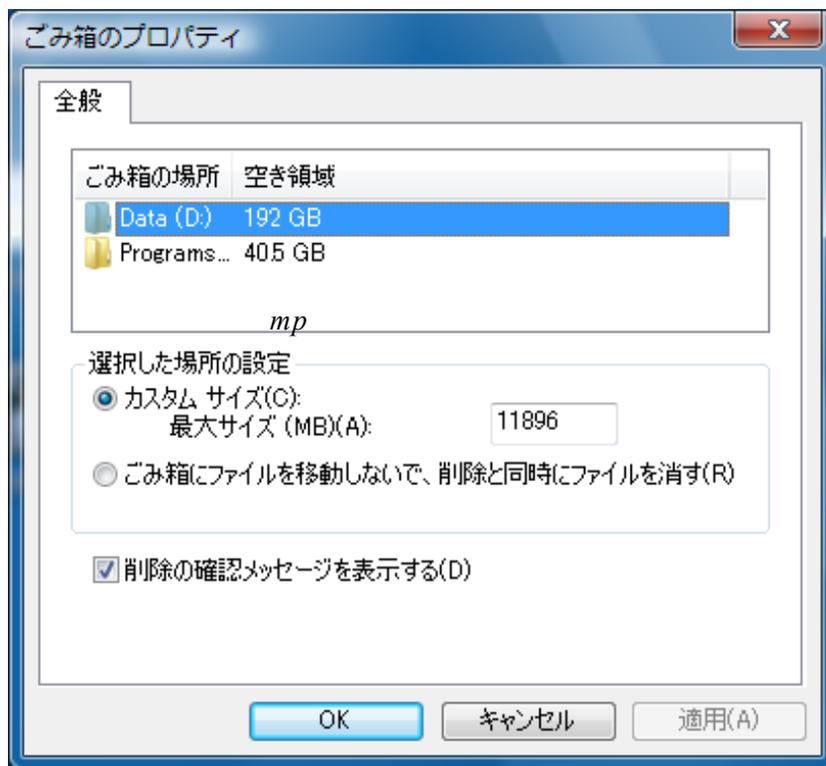
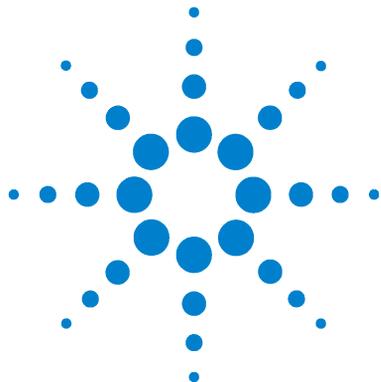


図 34 [ごみ箱のプロパティ] ダイアログの [全般] タブ

- [オプション] 14 画面レイアウト: ([デスクトップ] を右クリック > [表示] 「等間隔に整列」 をオフにします。



3

セキュリティ設定

この章では、LC/MSD、CE/MSD、LC/MSD Trap、GC 7890A、IO ライブラリスイート 15、Agilent Bootp サービスのすべてのセキュリティ設定を説明します。



LC/MSD と CE/MSD システムのセキュリティ設定

LC/MSD と CE/MSD システムの MSD 部分では、前記コンフィグレーション手順とは別のセキュリティ設定が必要です。さらに、MSD との通信は [**アダプタと結合**] ダイアログでの NIC の順番の影響を受けます。以下は、こうしたセキュリティ設定について説明します。

備考

ここでのセキュリティ設定は LC/MSD または CE/MSD システムを制御している PC のみに適用してください。

インターネットセキュリティの設定：

([**スタート**] > [**設定**] > [**コントロールパネル**] > [**セキュリティセンター**])

- 1 [**セキュリティ設定の管理**] の [**Windows ファイアウォール**] をクリックします。
- 2 [**全般**] タブ ( 35 を参照) で
 - a [**有効 (推奨)**] オプションをクリックします。
 - b [**例外を許可しない**] オプションをオフにします。

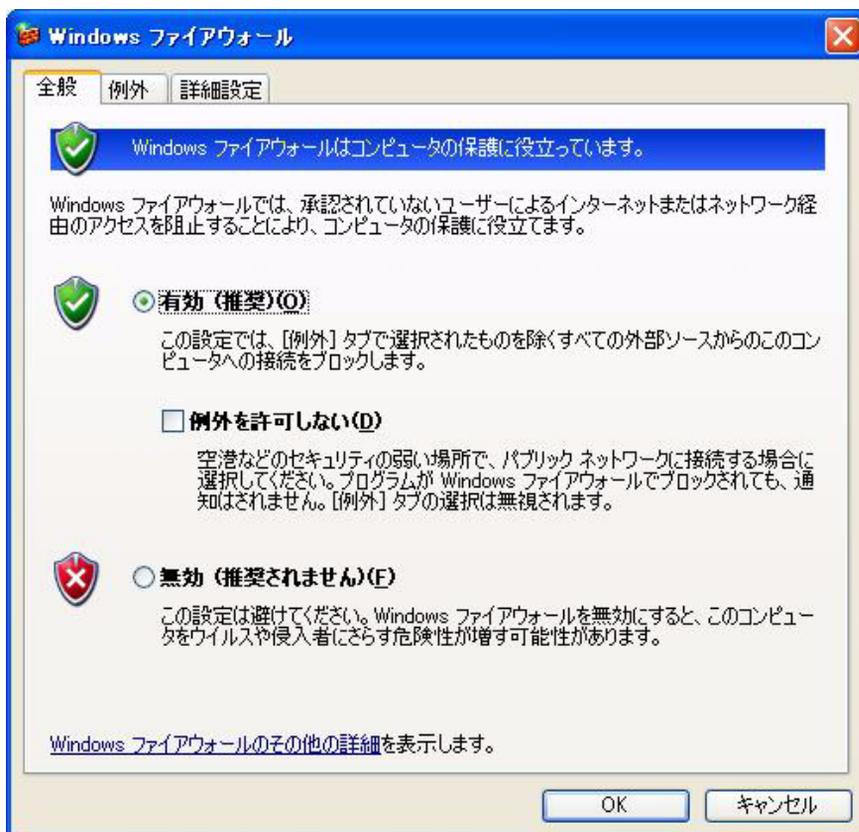


図 35 [Windows ファイアウォール] ダイアログの [全般] タブ

3 [例外] タブ (図 36 を参照) で

- a [Windows ファイアウォールによるプログラムのブロック時に通知を表示する] オプションをオンにします。
- b [プログラムおよびサービス] リストに「ChemMain.exe」を追加して、
- c このプログラムの例外を有効にします。
- d デフォルトで表示されているその他のプログラムは、すべてオフにします。

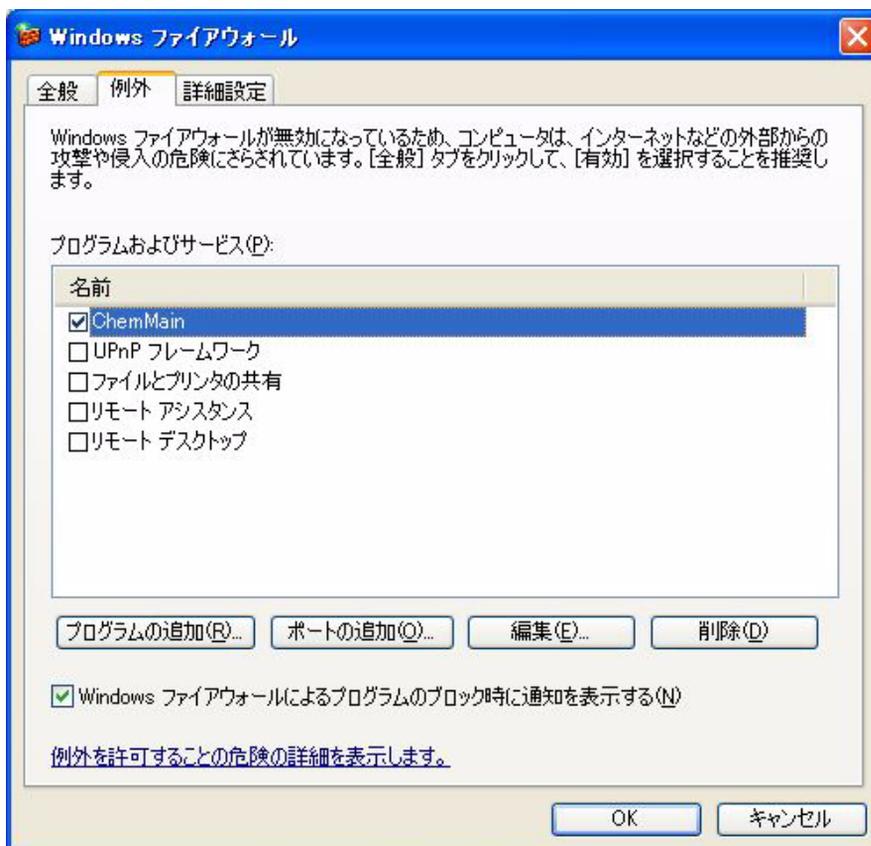


図 36 [Windows ファイアウォール] ダイアログの [例外] タブ

詳細ネットワーク設定：

([スタート]>[設定]>[コントロールパネル]>[ネットワーク接続])

- 1 [詳細]>[詳細設定]メニューをクリックします。
- 2 [アダプタと結合]タブ (図 37 を参照)。
 - a 「LC/MS」または「CE/MS」の NIC に関連している LAN 接続が接続リストの 1 番目の項目になっているか確認します。

備考

LAN カードの名前は例で示すものと異なることがあります。LAN カードに割り当てられた IP アドレスを比較することで、どの LAN カードが装置の LAN か分かります。

一般的に社内イントラネット / インターネットに関連している LAN は、組織の固定 IP 規定または DHCP サーバーにより割り当てられた IP アドレスを持ちます。ネットワーク管理者にお問い合わせください。

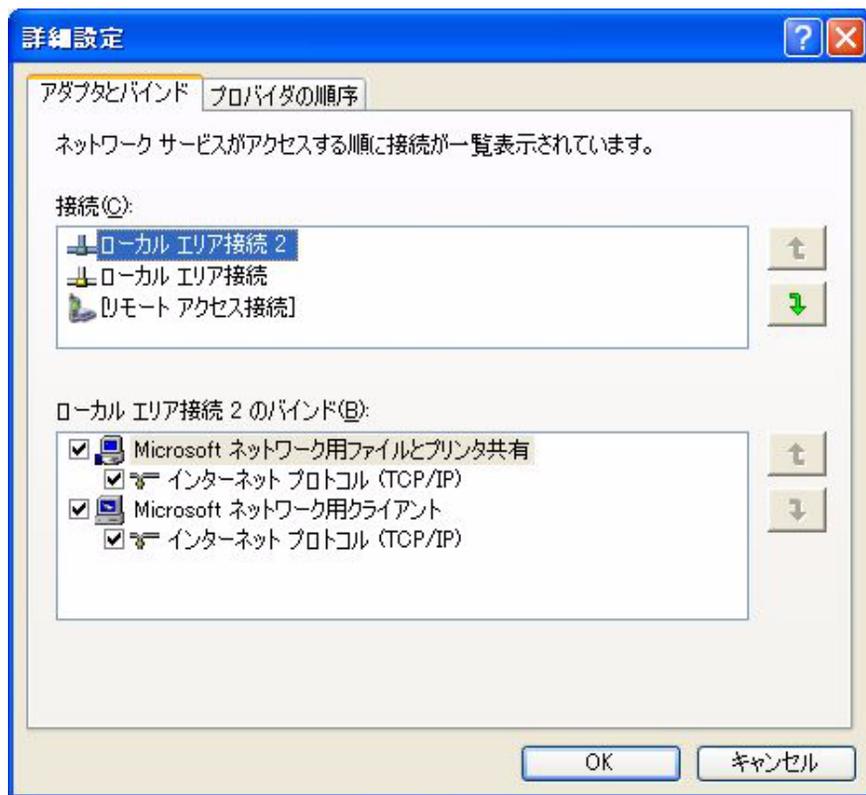


図 37 [詳細設定] ダイアログの [アダプタと結合] タブ

LC/MSD Trap システムのセキュリティ設定

LC/MSD Trap システムの MSD 部分では、前記コンフィグレーション手順とは別のセキュリティ設定が必要です。以下は、こうしたセキュリティ設定について説明します。

備考

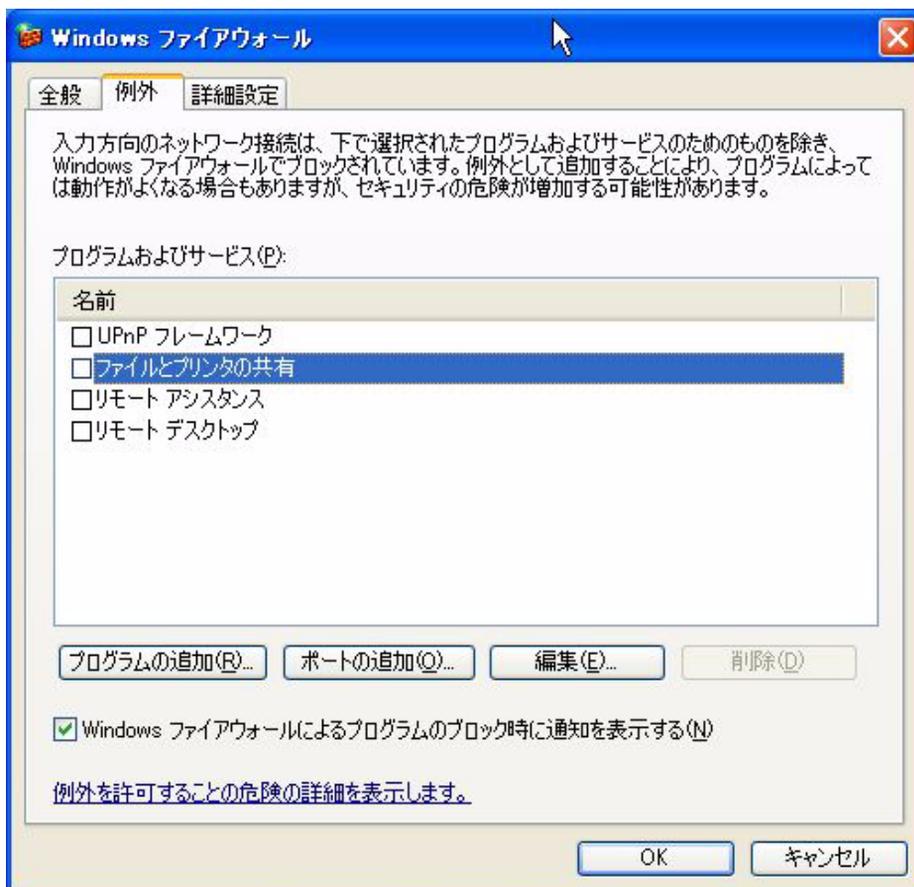
ここでのセキュリティ設定は LC/MSD Trap システムを制御している PC のみに適用してください。

インターネットセキュリティの設定 ([スタート]>[設定]>[コントロールパネル]>[セキュリティセンター])

- a [セキュリティ設定の管理] の [Windows ファイアウォール] をクリックします。
 - [全般] タブ (図 38 を参照) で [有効 (推奨)] オプションをクリックします。
[例外を許可しない] オプションをオフにします。

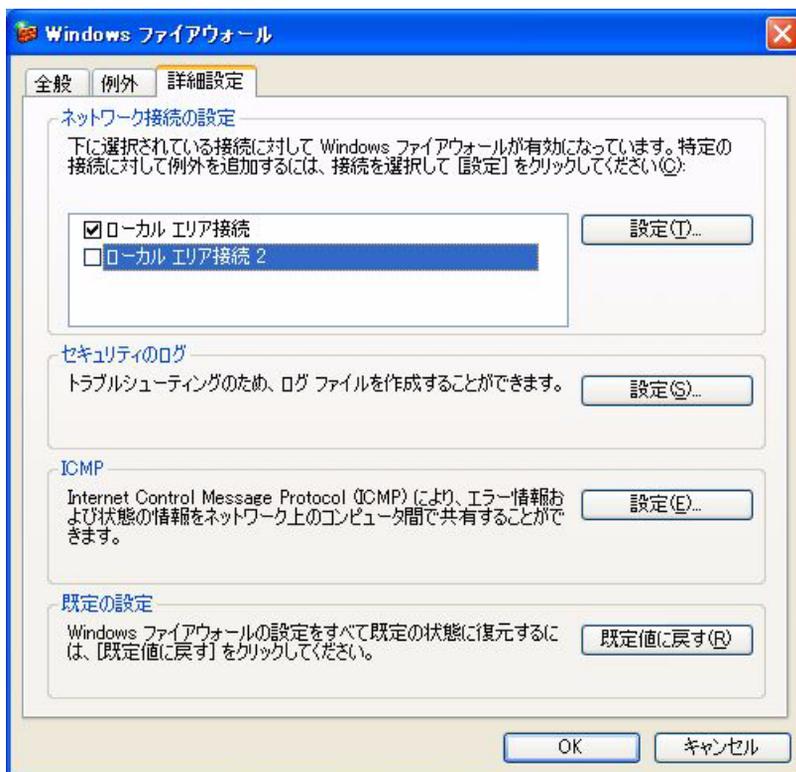


- [例外] タブ (図 39 を参照) で [Windows ファイアウォールによるプログラムのブロック時に通知を表示する] オプションをオンにします。

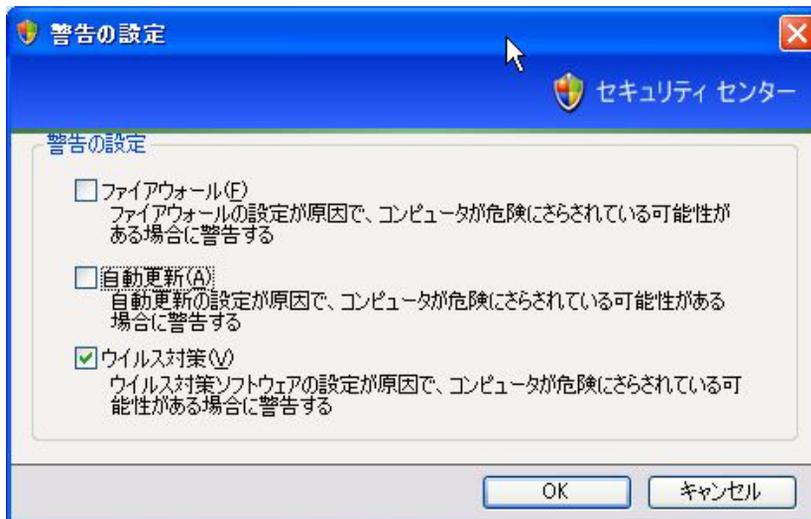


LC/MSD Trap システムのセキュリティ設定

- [詳細] タブ (図 40 を参照) で「ネットワーク接続設定」セクションで、「LC/MSD」NIC と関連する「LAN 接続」の選択を解除します。一般的にこれは「LAN 接続 2」です。



- b ヘルプのリストから、[**セキュリティセンターからの警告の方法を変更する**] をクリックします (図 41 を参照)。
- [**自動更新**] をオフにします。
 - [**ファイアウォール**] をオフにします。
 - [**ウイルス対策**] をオンにします。

**備考**

こうしたセキュリティ設定にすると、「Windows ファイアウォール」の状態に関する警告は受け取らなくなります。ご自身で「Windows ファイアウォール」の状態をモニタリングしてください。

GC 7890A システムのセキュリティ設定

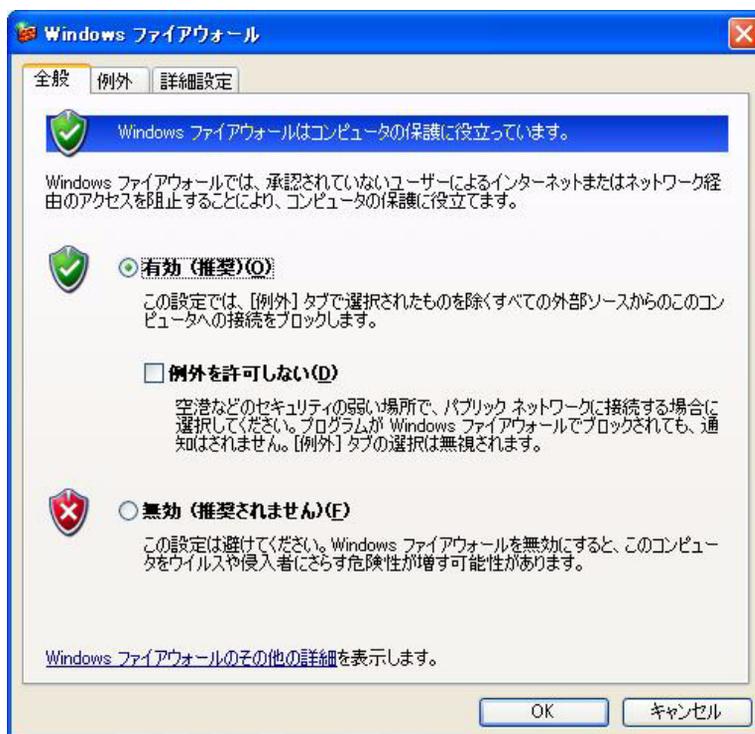
GC 7890A システムでは、前述コンフィグレーション手順とは別のセキュリティ設定が必要です。以下は、こうしたセキュリティ設定について説明します。

備考

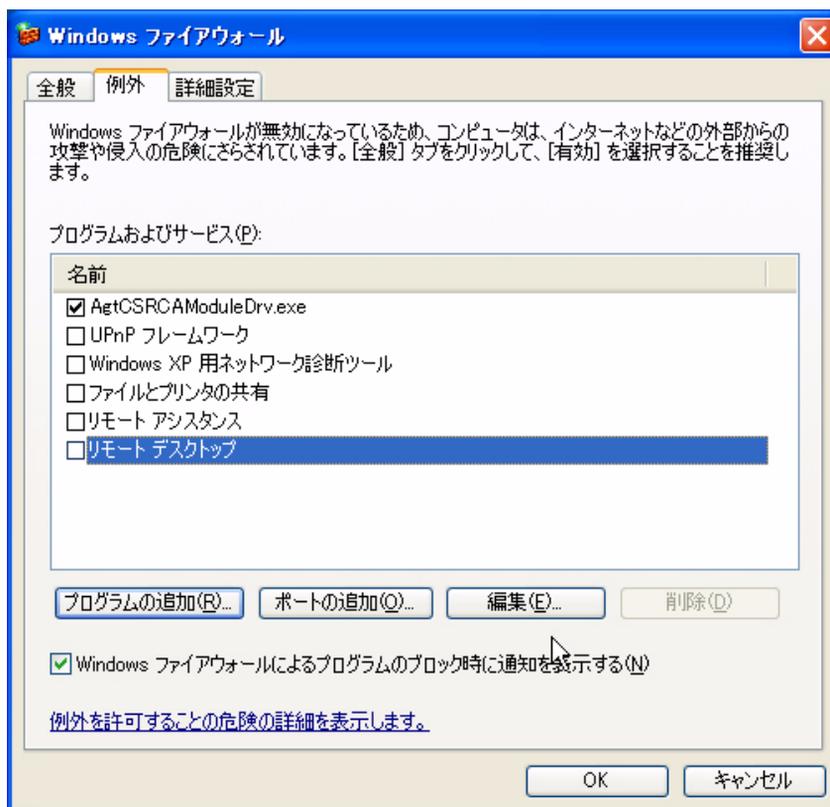
これらの設定は、GC 7890A システムを制御する PC のみに適用してください。

インターネットセキュリティの設定：([スタート]>[設定]>[コントロールパネル]>[セキュリティセンター])

- a [セキュリティ設定の管理] の [Windows ファイアウォール] をクリックします。
 - [全般] タブ (図 42 を参照) で
[有効 (推奨)] オプションをクリックします。
[例外を許可しない] オプションをオフにします。



- 3 [例外] タブ (下記参照) で
- [Windows ファイアウォールによるプログラムのブロック時に通知を表示する] オプションをオンにします。
 - [プログラムおよびサービス] リストに「AgtCSRCAModuleDrv.exe」を追加します。
 - このプログラムの例外を有効にします。
 - デフォルトで表示されているその他のプログラムは、すべてオフにします。



I/O ライブラリスイート 15 のセキュリティ設定

I/O ライブラリスイート 15.0 の使用には、前述コンフィグレーション手順とは別のセキュリティ設定が必要です。以下は、こうしたセキュリティ設定について説明します。

備考

これらの設定は、I/O ライブラリスイート 15.0 がインストールされている PC のみに適用してください。

インターネットセキュリティ設定:([スタート]>[設定]>[コントロールパネル]>[セキュリティセンター])

- a [セキュリティ設定の管理]の[Windows ファイアウォール]をクリックします。
 - [全般]タブ (図 44 を参照) で [有効 (推奨)] オプションをクリックします。
[例外を許可しない] オプションをオフにします。

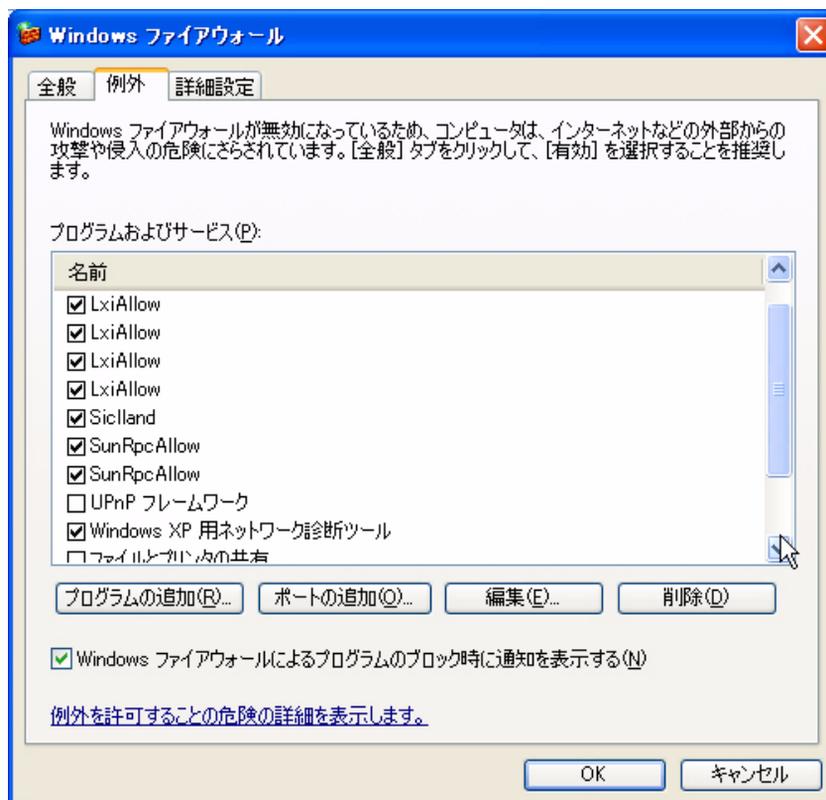


- 4 [例外] タブ (下記参照) で
- a [Windows ファイアウォールによるプログラムのブロック時に通知を表示する] オプションをオンにします。
 - b [プログラムおよびサービス] リストに「Siclland.exe」を追加します。
 - c このプログラムの例外を有効にします。
 - d [プログラムおよびサービス] リストに以下のポートを追加します。
 - LxiAllow: 5044 (UDP)
 - LxiAllow: 5044 (TCP)
 - LxiAllow: 320 (UDP)
 - LxiAllow: 319 (UDP)
 - SunRpcAllow: 111 (UDP)
 - SunRpcAllow: 111 (UPD)
 - e これらのポートの例外をオンにします。
 - f デフォルトで表示されているその他のプログラムは、すべてオフにします。

備考

上記プログラムとポートは、デフォルトとして、I/O ライブラリスイート 15.0 のインストール時のファイアウォールの例外リストに追加されます。

I/O ライブラリスイート 15 のセキュリティ設定



Agilent Bootp サービスを使用するシステムのセキュリティ設定

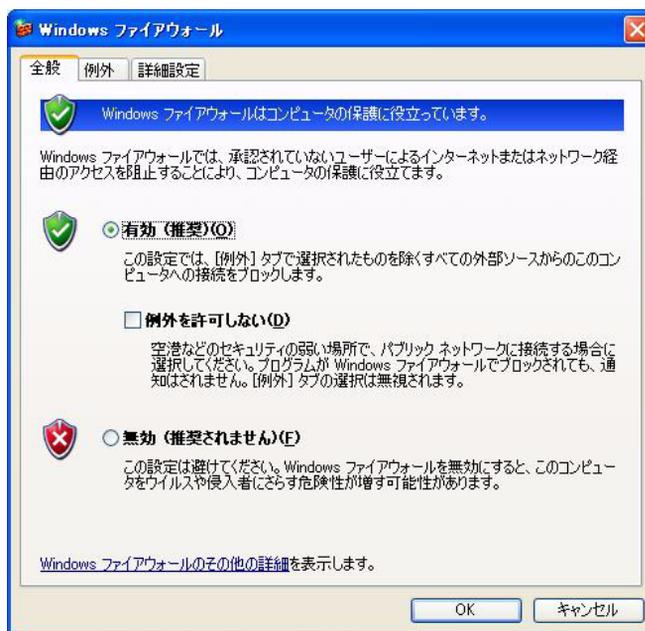
LAN 上で Agilent 機器の IP アドレス管理に Agilent Bootp サービスをご使用になる場合には、前述コンフィグレーション手順とは別のセキュリティ設定を行うことが必要です。以下は、こうしたセキュリティ設定について説明します。

備考

ここでのセキュリティ設定は、Agilent Bootp サービスを使用する PC のみに適用してください。

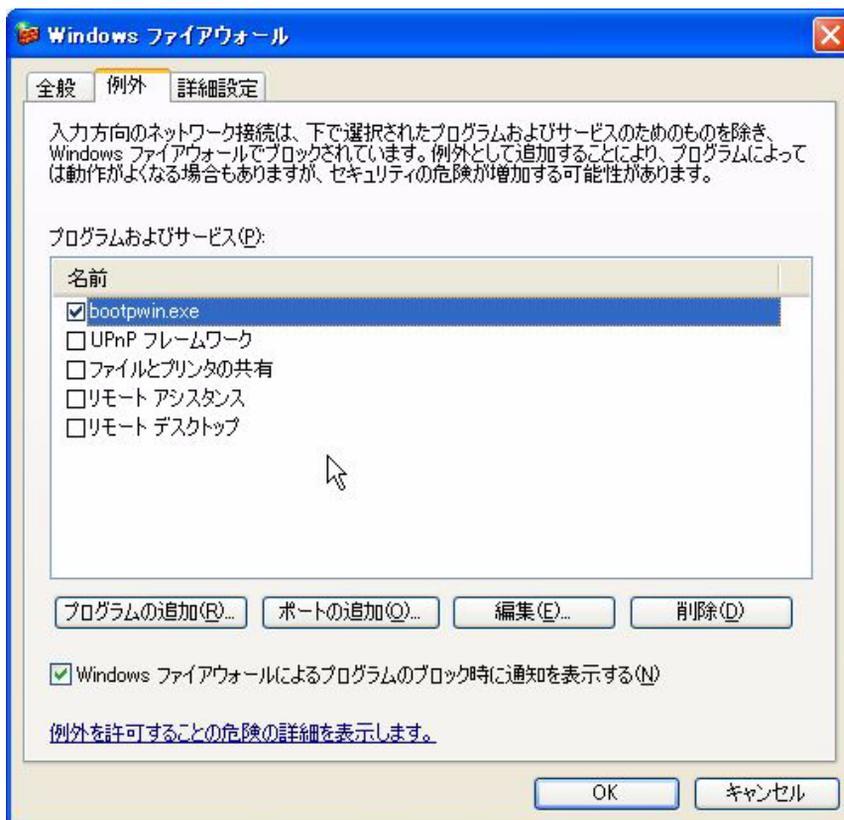
インターネットセキュリティの設定 ([スタート]>[設定]>[コントロールパネル]>[セキュリティセンター])

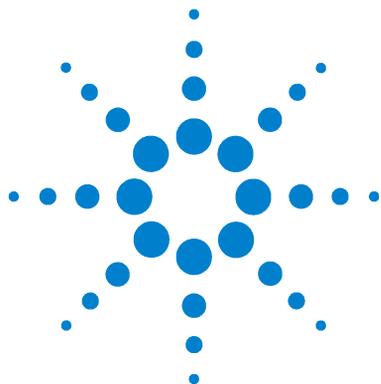
- a [セキュリティ設定の管理]の [Windows ファイアウォール] をクリックします。
 - [全般] タブ (図 46 を参照) で [有効 (推奨)] オプションをクリックします。
[例外を許可しない] オプションをオフにします。



Agilent Bootp サービスを使用するシステムのセキュリティ設定

- [例外] タブ (下記参照) で
[Windows ファイアウォールによるプログラムのブロック時に通知を表示する] オプションをオンにします。
[プログラムおよびサービス] のリストに「bootpwin.exe」を追加し、このプログラムの例外を有効にします。「bootpwin.exe」は、
c:\Program Files\Common Files\Agilent Shared\BootP\bin フォルダ
にあります。デフォルトで表示されているその他のプログラムは、すべてオフにします。





4

その他の変更操作

これらの変更操作は、Administrator のユーザーアカウントのみで実行できます。



ChemStation のインストール

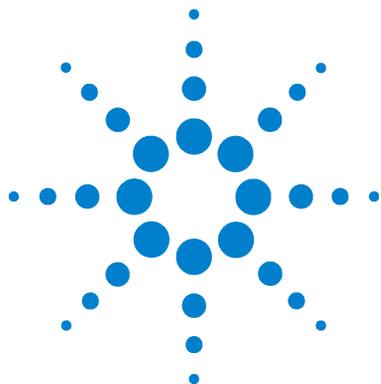
- 1 ChemStation ソフトウェアを C:\Program Files\Agilent\ChemStation\ にインストールします (Administrator ユーザーアカウントでログオン)。
- 2 システムを再起動します。

ChemStation をパワーユーザー / ユーザーとして実行するためのプロファイルとグループポリシー

ChemStation システムは、OS の Administrator ユーザーアカウントでインストールする必要があります。このマニュアルで説明したオプション設定でシステムを実行するには、すべてのユーザーとパワーユーザーが同じ設定を使用する必要があります。

説明した一部の設定は、Windows グループポリシーを使用したり、ユーザープロファイルをコピーすることで簡略化できます。これで、ユーザー / パワーユーザーのセットアップを簡略化できます。ただし、パフォーマンス設定などの変更は、Administrator ユーザーアカウントによるマニュアル設定のみによります。

ChemStation をパワーユーザー / ユーザーとして実行するためのプロファイルとグループポリシー



5 PC のファイルシステムのメンテナ ンス

ChemStation システムのパフォーマンスを最適化するには、不必要なファイルの削除など定期的なメンテナンスを予定に組み込むことが重要です。定期メンテナンスのスケジュールの一部として、以下の手順を行ってください。

備考

この作業を行うには、Administrator 権限が必要です。

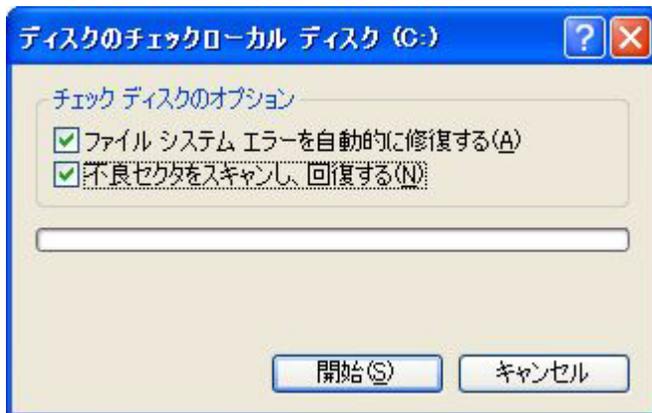


NTFS ボリュームのスキャンと修復

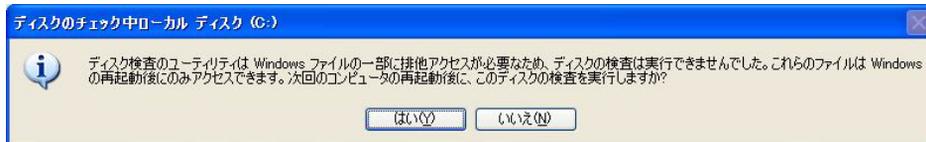
- 1 デスクトップの [マイコンピュータ] をダブルクリックします。
- 2 C: ドライブを選択します。
- 3 [ファイル] > [プロパティ] を選択します。
- 4 [ツール] タブで、「エラーチェック」セクションの「チェックする」をクリックします。



- 5 チェックディスクのオプションである「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」と「不良セクタをスキャンし、回復する」を両方ともオンにします。
- 6 [開始] ボタンをクリックします。



- 7 「ディスク検査のユーティリティは Windows ファイルの一部に排他アクセスが必要なため、ディスクの検査は実行できませんでした。これらのファイルは Windows の再起動後にのみアクセスできます。次回のコンピュータの再起動後に、このディスクの検査を実行しますか？」という警告メッセージが表示されます。[はい] をクリックします。



- 8 コンピュータを再起動します。起動中に、ディスクのチェックが行われます。
- 9 コンピュータの残りのドライブに対して、上記の手順を繰り返します。

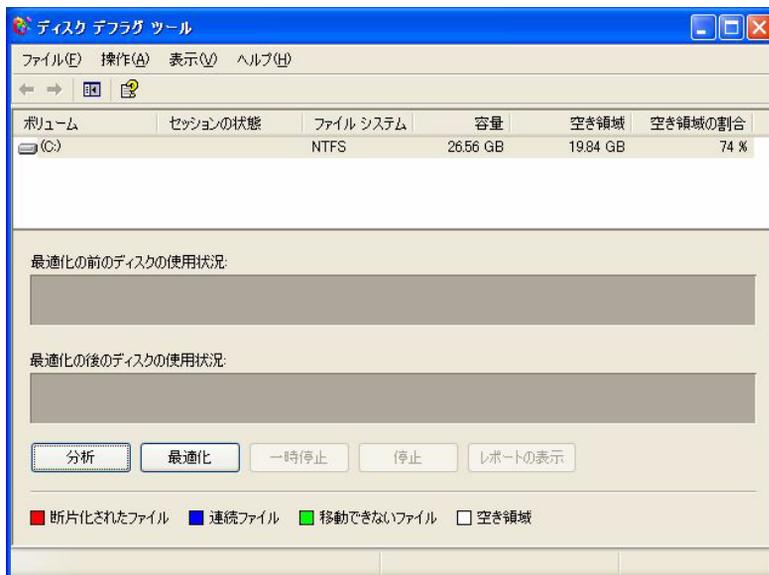
NTFS ボリュームのデフラグ

NTFS ボリューム上のファイルの断片化は、FAT ファイルシステムと比べると著しく軽減されています。NTFS ボリュームでは設計上、ドライブにあるファイルのサイズが増大した場合にのみ断片化が起こります。つまり、ボリュームをテープにバックアップして、テープからそのボリュームを復元すると、ボリュームは断片化されません。

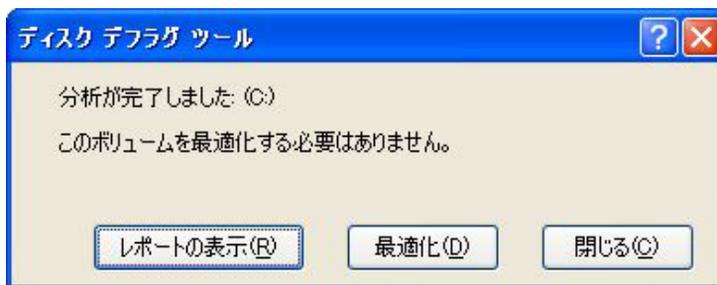
Windows XP Professional では、デフラグユーティリティが付属しています。

Microsoft Windows のデフラグユーティリティを使用するには、以下の手順に従います。

- 1 [スタート]>[すべてのプログラム]>[アクセサリ]>[システムツール]>[ディスクデフラグ]を選択します。
- 2 分析するドライブ (C: など) を選択して、[分析] ボタンをクリックします。



- 3 分析の結果によってドライブのデフラグが必要である場合には、[最適化] をクリックします。この時点でデフラグが必要でない場合には、[閉じる] をクリックします。



4 システムの残りのドライブに対して、上記の手順を繰り返します。

データ取込中には、ハードディスクのデフラグは行わないでください。

注意

ウイルスのスキャン

Agilent ChemStation コンピュータが他のシステムとの通信でネットワーク接続されている (LAN、モデム、BBS など) 場合や、他のコンピュータのユーザーとファイルを共有している場合には、コンピュータウイルスのドライブスキャンを行うことをお勧めします。インターネットからプログラムをダウンロードしたり、電子メールやフレキシブルディスクで文書やプログラムの交換を行う場合には、ウイルスチェックのユーティリティが必須です。

ウイルススキャンには、数多くのユーティリティが存在します。またこうしたユーティリティは通常、新種のウイルスが発見されると定期的に更新されます。ウイルススキャンのユーティリティによるウイルススキャン時には、ハードディスクのパフォーマンスが低下することに注意してください。また、その他システム動作に影響する作用もあります。

Agilent ChemStation は、Symantec の Norton Antivirus との実行によるテストを受けています。週に 1 回以上は、ChemStation コンピュータのすべてのディスクをウイルススキャンすることをお勧めします。新種のウイルスへの対応として Symantec が提供する最新のウイルス定義を取得するために、必ず LiveUpdate を実行してください。

備考

データ取込中には、ウイルススキャンを行わないでください。ハードディスクのパフォーマンス低下と取り込まれたデータにより、ハードディスクへの書き込み速度が足りずに、機器のログブックに停電やバッファオーバーランのメッセージが発生し、さらにデータ損失の可能性もあるためです。

備考

Norton AntiVirus のバージョンが Norton Antivirus 2005 より古い場合には、Windows セキュリティセンターからの警告として、Norton AntiVirus はインストールされているがその実行状況を判断することができないことが通知されます。ウイルス対策のセキュリティ警告を無効にして Norton AntiVirus をユーザー自身で監視する方法については、Windows を参照してください。また、Windows セキュリティセンターに互換性を追加するための更新ファイルを取得する方法については、Symantec のサポートにお問い合わせください。

残存している一時ファイルのクリーンアップ

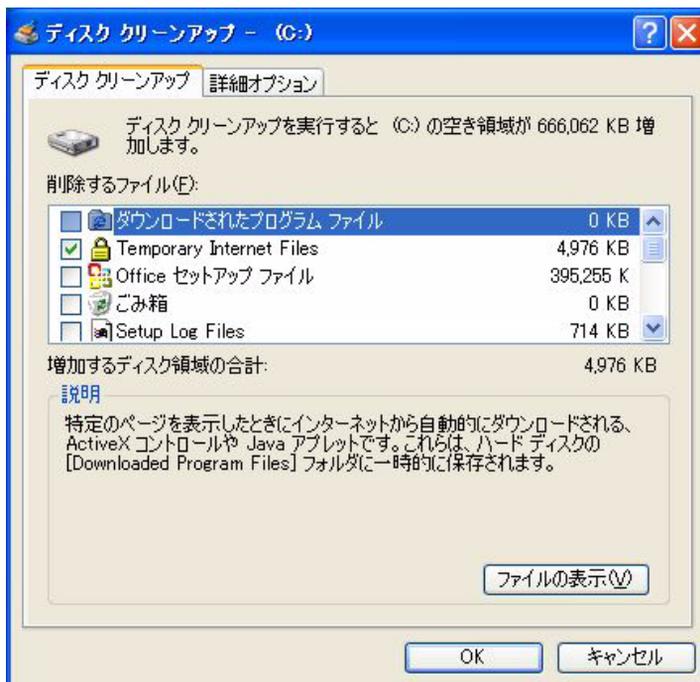
TEMP 環境変数が指定するディレクトリ内に、一時ファイルが蓄積する場合があります。こうした一時ファイルが残存するのは大抵、最初に Windows を閉じずにコンピュータの電源を切った場合などの Windows の異常終了時です。Windows の一時ファイルの名前は ~XXXXXXXX.TMP です。XXXXXXXX とは、一時ファイルを作成したプログラムによって生成される文字や数字です。一時ファイルの領域を確保するには、実行されているアプリケーションをすべて閉じてから一時ファイルを削除してください。

一時ファイルに使用されているディレクトリを知るには、コマンドプロンプトで SET と入力します。ユーザーやシステムの環境変数のすべてに関する現在の設定が返されます。

- 1 [スタート]>[すべてのプログラム]>[アクセサリ]>[システムツール]> [ディスククリーンアップ] を選択します。
- 2 クリーンアップするドライブ (C: など) を選択します。



- 3 「一時ファイル」と「Temporary Internet Files」を選択します。ユーザーの PC の用途や削除するファイルの種類について熟知していれば、他の種類のファイルを選択して削除してもかまいません。ディスククリーンアップユーティリティでは重要なファイルを削除してしまう可能性があるため、熟知していない種類のファイルは削除しないでください。ChemStation コンピュータでは、「古いファイルの圧縮」オプションをオンにしないでください。[OK] をクリックします。



- 4 システムの残りのドライブに対して、上記の手順を繰り返します。

バックアップ

重要なデータを保護するには、適切なバックアップ方針を実行することが必須です。定期的にデータファイルをアーカイブ化することをお勧めします。オンライン使用する必要がなくなったデータファイルは、アーカイブ化してハードディスクから削除してください。これにより、コンピュータのハードディスクの空き領域が確保されます。ダイオードアレイ検出器や質量分析検出器から取り込まれたデータのサイズは、数メガバイトを簡単に超えてしまうことがあります。

Windows XP のバックアップ

Windows XP Professional には、標準テープデバイスを数多くサポートする互換性のあるバックアッププログラムが付属しています。バックアップユーティリティは、単一のファイルをバックアップしてオフライン媒体に記録する目的でも使用できます。どちらのバックアップユーティリティでも、データだけでなく Windows レジストリをバックアップすることもできます。

Windows XP のバックアップの自動化とスケジュール

Windows XP ではバッチファイルとスケジューラサービスを使用することによって、バックアップジョブを自動化したりスケジュール化することができます。Windows XP では、デフォルトでスケジューラを使用できます。

注意

Agilent ChemStation でのデータ取込中には、Windows ベースのバックアップユーティリティによるバックアップを行わないでください。ハードディスクのパフォーマンス低下と取り込まれたデータにより、ハードディスクへの書き込み速度が足りずに、機器のログブックに停電やバッファオーバーのメッセージが発生し、さらにデータ損失の可能性もあるためです。バックアップメディアに格納されているファイル構造に矛盾が生じるおそれがあります。

Travan テープドライブ

テープドライブは、現在最も多く使用されているバックアップデバイスです。IDE テープドライブは、最も低いハードウェアの初期コストと、使用に耐えるパフォーマンスを兼ね備えています（最大 4 GB/hour）。Travan テープは、単一のワークステーション PC で Agilent ChemStation を実行しているラボのほとんどにおいて、最適なバックアップ手段です。テープあたりの最小の記憶容量は現在、非圧縮データで約 2.5 GB です。

使用ドライブをサポートする適切なバックアップユーティリティが必要です。

備考

MS-DOS ベースのテープバックアップユーティリティは、Windows から実行しないでください。テープ上のファイル情報が破壊されるおそれがあります。

デジタルオーディオテープ (DAT) ドライブ

デジタルオーディオテープ (DAT) ドライブは、一般的に記憶容量が 2 ~ 6 GB 以上であるため大容量のデータ処理に適していますが、PC に SCSI インタフェースが取り付けられている必要があります。

光磁気 (MO) ディスクドライブ

MO ディスクドライブは 1.3 GB 以上の外部 SCSI 接続の大容量デバイスで、接続には PC に SCSI インタフェースが取り付けられている必要があります。MO ディスクドライブは、ライトワンスメディアやリライタブルディスクに読み書きができます。

特定にバックアップソフトウェアは必要ありません。OS またはデバイスに付属しているサポートドライバによって、フロッピーディスクと同様に追加の MO ディスクにアクセスできます。

備考

リライタブルディスクは NTFS フォーマット時には、システムの起動中に取り外したり交換するなどの「ホットスワップ」はできません。ディスク交換するには、Windows をシャットダウンする必要があります。

レコーダブル CD-ROM

CD-R (CD レコーダブル) システムを使用すると、1 枚の CD-R ディスクに最大で 700/800 MB のデータを記録できます。CD リーダーや CD レコーダは多くの場合、PC の IDE インタフェースに接続されています。CD-R メディアは非常に寿命が長いので、アーカイブ化に最適です。CD-R ディスクは、CD-ROM ドライブと適切なソフトウェアがあれば他のコンピュータでも読み取り可能です。

レコーダブル DVD

レコーダブル DVD は、DVD+R や DVD-R などいくつかのフォーマットで利用できます。1 枚の DVD で最高 4.7 GB (一層) / 8.5 GB (二層) のデータを記録することができます。DVD リーダーや DVD レコーダは多くの場合、PC の IDE イ

ンタフェースに接続されています。DVD±R ディスクは CD-ROM ディスクと遜色のない寿命を持っています。ほかの DVD フォーマットとは対照的に、DVD±R ディスクは書き換えはできず、そのため長期アーカイブに特に適しています。DVD±R ディスクは、DVD ドライブと適切なソフトウェアがあれば他のコンピュータでも読み取り可能です。

ネットワークサーバー

ネットワークサーバーは、ネットワークシステムの管理者がサーバーのディスクに保存されているデータの適切なバックアップ方針を実行していれば、データのバックアップ目的に使用することもできます。方針の 1 つとしては、**Agilent ChemStation** 用にサーバーディスク容量を割り当てます。このサーバーのバックアップ部分は、アクセスやコピー、評価など標準的なファイル操作を Windows 内でできる共有と呼ばれます。

この方法での利点は、システムのアカウント（ログオン権限）を有するすべてのユーザーのバックアップをシステムの管理者が集中的に実行することです。

備考

3.5 インチのフロッピーディスクドライブの使用は、Agilent ChemStation でのバックアップ手段としては適切ではありません。

ChemStation をパワーユーザー / ユーザーとして実行するためのプロファイルとグループポリシー

本書では

このマニュアルでは、アジレント提供でない PC バンドルシステムの設定方法を説明します。

このマニュアルの最初の 2 つの章では、アジレント提供でない PC バンドルシステムの設定に必要なすべてのパラメータの他、インターネットセキュリティの様な重要な設定についても説明します。

3 番目と 4 番目の章では、機器特有のセキュリティ設定と追加コンフィグレーションタスクそれぞれを説明します。

最後の章では、最適な状態にパフォーマンスを維持するためのコンピュータのメンテナンス方法を説明します。

© Agilent Technologies 2004, 2005-2008

Printed in Germany
07/08



G2170-96132